

京都大学附属図書館所蔵
貴重書漢籍抄本日録

興膳 宏・木津祐子編

京都大学附属図書館
平成7年

序

京都大学附属図書館所蔵の貴重書は、漢籍の占める割合がかなり高いが、その中の少なからぬ部分を占めるのが抄本、つまり手書きの書物である。但し、ここでいう漢籍とは、中国撰述の書だけでなく、漢籍のかな書きの講義録である抄物や、中国古典に関連して著わされた邦人の著作を含んでいる。その内訳を見ると、ごく少数の平安・鎌倉期の抄本を除けば、圧倒的多数は室町から江戸末期に至る時期のものであり、下限は明治三十年代にまで及んでいる。常識的には、この時期はとっくに版本の時代であり、抄本はその補助的な役割を果たすにすぎなくなっていたはずである。しかし、このたび縁あってこのコレクションを調査してみると、この版本の時代にあっても、抄本でなければならない役割は依然としてあったことがよくわかる。

抄本のかかなりの部分が、舟橋家旧蔵の清家文庫に属する。舟橋家（清原家）は、代々天皇の侍読を務めた博士家であり、そこに伝わる書物のほとんどが、天子への伝授のための秘儀的な性格を備えていた。ヲコト点や訓点や清濁点などの「秘点」は、安易に部外者に伝えることの許されないものとして、大切に守られてきたのである。『孝経述義』のような、中国ではすでに亡びてしまった天外の孤本が一部に存するのを除けば、舟橋家に蔵された漢籍の本文自体は、さほど珍しいものが多いわけではない。これらの書の価値は、かかって本文に付された「秘点」や抄物の記述に示される伝授の形態に存している。それが閉ざされた中世的な学問の方法ではあるにしても、抄本によってこそその姿はよく今日に伝えられたといえる。歴代の博士の中でもことに独創性に富む学者だった清原宣賢（一四七五～一五五〇）の特徴的な字体には、舟橋家の学問の権威の象徴を印象づけられる思いがある。

先に述べた「漢籍」の定義についても、いま少し説明を加えておく必要がある。一般に「漢籍」といえば、中国撰述の書を意味しており、中国の古典について日本人が著わした書は「国書」として区別される。逆にいえば、訓点を施した「漢籍」は、それが本朝人による中国古典の一種の翻訳であるにもかかわらず、「国書」と見なされることはなかった。だから、過去に刊行された『国書総目録』のような目録には、たとえば『尚書聴塵』や『毛詩聴塵』のような和語による講義録

(抄物)は著録されていても、そのもとになったテキストである訓点付きの『尚書』や『毛詩』は載せられることがない。また漢籍目録の類からは、抄物や日本人が著わした注釈の書は当然除外される。

書物の国籍を区分するという立場からすれば、そうした処置にはもちろん理がある。しかし、日本人による中国古典受容のありかたとして問題を設定するならば、おのずから別の区分もあり得るのではないか。中国古典のテキストがあり、それを日本語の中で消化吸収してゆくための翻訳上の創意が加わって訓点が付され、テキストをいかに解釈したかを示す講義録がそこから生まれ、さらにそれら中国古典を自国の文化に融合してきた日本人としての眼で考察した研究書が著わされる。こうした系列の中で「漢籍」を位置づけることによって、「漢籍」に対する新たな視点が開けてくる可能性もあるであろう。たとえば抄物や訓点については、従来もっぱら国語学史の資料として注目されてきたが、中国古典解釈学史の資料としても大いに活用されてよいことを、この目録の内容自体が示唆しているといえるのではないだろうか。

この目録は四部分類に従って排列したが、全体を通覧してみると、各部の蔵書数には大きな不均衡のあることが知られる。すなわち二百五十三点の書の大半を経部の書が占めていて、他の三部を圧倒している。史部の書は各種の書目を見ても、一般に数が多いはずなのに、ここでは経部の書に比して著しく見劣りがするし、集部の書にしても、目につくのは『白氏文集』と『三体詩』程度で、さほど多彩な典籍が収められているわけではない。これは舟橋家を中心とする学問のありかたが、あくまでも經学に重点を置くものであったことの当然の反映というべきであろう。また『白氏文集』の古写本が少なくないことは、白居易の文学に認められていた権威の大きさを改めて確認させるものである。

この調査の過程で明らかになった事実もいくつかある。本目録の対象となった抄本の多くが清家文庫に属することはすでに記した通りだが、元来舟橋家の有に帰すべき書でありながら、のち何らかの理由で分散し、いま再びこの貴重書庫の中で邂逅したものが少なくないことは、ことに特記されてよかろう。これまで知られていたものをさらに拡充した形での清家文庫の姿が、この目録によって窺えるであろう。また、皆川淇園・稻生若水など、江戸時代の漢学者の稿本を多く有することに

かけても特色があり、今後江戸漢学研究の欠かせない資料として珍重されるにちがいない。

『幼学指南抄』という平安朝後期に成立した類書の一部が貴重書庫中に存していたことも、この調査の中で知った。この書はもと三十巻から成ったらしく、ほかに目録一巻が付されていた可能性もある。完本はいまのところまだ見出されておらず、ただ一種の古抄本二十二巻分が、大東急文庫や台湾の故宫博物院に分割して蔵されている。京大本は巻七の人部一・二、巻二十二の巧芸部下・方術部・火部の二冊で、各種の複製本の解題では「並河家旧蔵」とのみ記されるだけで、現在の所在は知られていなかったものである。虫損がかなりひどかったので、いま逐次補修の手を加えられつつあり、いずれ面目を一新して公にされる日も遠くあるまい。

この調査は、興膳が資助を受けた一九九三年度の学内特定研究の仕事の一環として着手した。調査から目録作成に至る作業を担当したのは、文学部中国語学中国文学研究室の興膳と木津祐子である。文学部国語学国文学研究室の木田章義助教授には、専門的な立場から協力をいただき、多くの貴重な教示を賜った。調査は二年間でほぼ終わることができたが、目録の形にまとめるに当たって、予想しなかったいくつかの問題点が生じたため、さらに補充の調査を重ね、ここようやく全ての作業が完了した。このような形の目録として刊行することができたのは、附属図書館前館長朝尾直弘氏のご厚意によるところが大きい。ただ私の非力による作業の遅延のため、同氏の在任中に刊行に至らなかったことを深く恨みとする。調査と目録作成の各段階においては、附属図書館の隅田雅夫、森稔夫、林茂栄、川崎雅史、青木正夫、古川千佳の諸氏のお世話になった。またデータの入力に関しては、中国語学中国文学研究室の大学院学生諸君の協力を得た。これら全ての方々に対して、心からお礼を申し上げたい。

一九九五年五月一六日

興膳 宏

凡例

一、 本書は、京都大学附属図書館貴重書庫及び準貴重書庫内の漢籍古抄本の目録である。ここでいう漢籍古抄本とは、漢籍の抄本、及び準漢籍（抄物などの邦人による注解の書）、さらに漢籍に関する邦人の撰述書を指す。まとまった文庫としては、清家文庫の大部分・谷村文庫の一部がその中に含まれる。

二、 当該書筆写年代の下限は、幕末～明治期のものに及ぶ。

三、 配列は、標準的な四部分類法によって部類を分かち、各類の始めに漢籍及び準漢籍、その後に邦人の撰述書を配した。

四、 書籍毎の情報項目の配列は以下の通り。

(例) 孝経抄 著者不詳 清原業賢筆（一部国賢筆） 大永 8 年	→ 1
1 冊 2 7.7 × 2 2	→ 2
外・孝経抄、内・古文孝経	→ 3
国賢（白文）	→ 4
和文 1 7 行 無辺無界	→ 5
朱・句点、傍線	→ 6
奥書・「大永八年八月十日遂写功訖。外史清原朝臣（花押）」	→ 7
重要文化財。表紙題下に「青松」二字あり。雲形模様表紙。	→ 8
清家文庫 1—6 9 コ 1 2 貴 9 4 4 9 4 0	→ 9

(項目内容)	1 書名・著者名・筆写者名・筆写年代
	2 数量・形態
	3 外題・内題
	4 蔵書印
	5 行及び字数・辺界
	6 訓点
	7 奥書・刊記・識語
	8 備考
	9 文庫名・請求記号・登録番号

但し、本目録の書式上の制限により、項目内容が数行にわたる場合には次行以下に続けて記載する。

五、 書名は広く通用のものを取り、必ずしも京都大学附属図書館の登録名とは一致しない。

- 六、 複数の性・号を有する人物が著者または筆写者である場合、より一般的と考えるものに統一して記した。例えば、「清原宣賢」は、「舟橋宣賢」とも「環翠軒」とも名乗るが、目録の中では、すべて「清原宣賢」に統一した。但し、奥書などは、表記通りに記載する。
- 七、 漢字は新字体に、数字は洋数字に統一した。但し、新字体で、元来異字であったものが区別されぬような場合には、旧字体を用いる。また奥書などに見える数字は、表記通りに記載する。
- 八、 巻末には「書名索引」及び「人名索引」を付す。件名は、日本語による読みを五十音順に従って配列した。

目次

I. 經部

易類	1
書類	5
詩類	6
礼類	8
春秋類	9
孝經類	10
四書類	13
小学	19

II. 史部

正史類	22
雜史類	23
詔令奏議類	23
伝記類	23
地理類	23
政書類	24
目錄類	24

III. 子部

儒家類	25
道家類	26
兵家類	26
医家類	28
天文算法類	31
芸術書画類	31
雜家類	32
類書類	32
小説家類	35

IV. 集部

別集類	36
総集類	37

V. 書名索引

書名索引	40
------	----

VI. 人名索引

人名索引	45
------	----

[経部 易類]

001

易経 上下 (魏) 王弼注 清原国賢、秀賢筆

筆写年不詳

1 帙 2 冊 6 卷 26. 7×20. 2

外・周易、内・周易経伝

天師明経儒、宣條、宣光之印(朱文)、清原(朱文)

8 行 14 字 注双行 四周单边有界

朱・ヲコト点 墨・訓点 眉欄書入れあり

奥書等なし

船橋家旧蔵本。第1冊 乾一離、第2冊 咸一未済。巻末に覚え書き風の雑記数葉を付す。

1-62 エ6貴 98066

002

周易正義 (唐) 孔穎達著 筆写者不詳 筆写年

不詳

1 帙 3 冊 14 卷 25. 8×20. 7

外内題異同なし

船橋蔵書(朱文)

14 行 21 字 無辺無界

朱・句点、傍線 墨・訓点、和訓

奥書等なし

宋版の転写。単疏本。

清家文庫 1-62 シ3貴 913255

003

周易 著者不詳 清原国賢、秀賢筆 慶長6年

1 帙 4 冊 (巻7-10) 26. 7×20. 3

外内題異同なし

蔵書印なし

8 行 14 字 单边有界

朱・ヲコト点 墨・和訓、訓点

奥書・第三冊「慶長六年辛丑季潤十一月三日写之、此巻吉田ニテ半分西岡勝龍ニテ半分書立ル也」

内容は繫辞伝、説卦伝、序卦伝、雜卦伝、周易略例。

1-62 シ8貴 98065

004

易抄 巻1-6 (欠第3巻) 著者不詳 筆写者

不詳 筆写年不詳

1 帙 5 冊 27. 2×20. 2

外・周易、内・周易、周易抄など

宗密(白文)、大通(朱文)をそれぞれ他の印と重押

和文16行 無辺無界

朱・傍線

奥書等なし

1-62 エ5貴 64455

005

大易断例ト筮元龜 蕭吉父撰集 筆写者不詳 筆

写年不詳

1 帙 2 冊 26. 2×19. 4

外・なし、内・大易断例ト筮元龜、上巻尾題・

新編大易断例ト筮元龜

宗密(白文)、大通(朱文)

9 行 注双行 四周单边有界

ま朱点あり

奥書等なし

大徳十一年、平水進徳斎序あり。

1-62 タ1貴 64452

006

大易緝説 (宋) 王甲子述 筆写者不詳 江戸末

期

2 冊 8 卷 27. 1×19. 0

外・なし、内・大易緝説

蔵書印なし

16 行 26 字 無辺無界

朱墨書き入れなし

奥書等なし

通志堂経解所収。

谷村文庫 1-62 タ1 91000976

~77

007

易学啓蒙 (宋) 朱熹著 亦庵村僧筆 文明9年

3 帙 23 冊 27×20

外・第一冊のみ易学啓蒙、あとは易抄 帙背題

簽・易抄

天師明経儒(朱文)、宣光之印、伏原(白文)

14 行 無辺無界

朱・句点

奥書・最終冊(第23冊)「文明九年歲舍丁酉季春谷雨日、亦庵村僧書于點易亭」

清原家旧蔵本。和文まじり。易抄の他に易に関する諸書を抄録。

清家文庫 1-62 エ7貴 98063

008

易学啓蒙通釈 (宋) 胡方平原著 上巻は清原宜

賢筆(一部他筆あり)、下巻は筆写者不詳 筆

写年不詳

1帙2冊2巻 27. 3×21. 2
外内題共に易学啓蒙
船橋蔵書(朱文)
上・10行21字 四周单边有界、下・10行
21字 注双行 無辺無界
朱・句点 墨・和訓、訓点
奥書等なし
重要文化財。錦江精舍刊本文公易学啓蒙通釈の
転写本
清家文庫 1-62 エ5貴 944932

009

易学啓蒙抄 (宋) 胡方平著 清原宣賢筆 筆写
年不詳
1帙2冊2巻 27. 3×21. 2
外・易学啓蒙抄、内・易学啓蒙
船橋蔵書(朱文)
和文8行各行双行 四周单边有界
朱・句点、傍線 墨・訓点
奥書等なし
重要文化財。題簽は宣賢筆。卷末の箋に「易学
啓蒙抄二冊、後浄居院宣賢卿一号環翠軒御筆也。
少納言師賢謹誌」とあり。
清家文庫 1-62 エ3貴 944933

010

易学啓蒙通釈 (宋) 胡方平原著 筆写者不詳
筆写年不詳
1冊 27×21. 7
外・なし、内・啓蒙通釈、帙題・易经啓蒙通釈
蔵書印一種、墨で塗抹
和文17行 無辺無界
朱・傍線
奥書等なし
船橋家旧蔵本。
清家文庫 1-62 エ4貴 87678

011

易学啓蒙通釈口義 (宋) 朱熹著 清原宣賢筆
筆写年不詳
1冊(上之二) 27. 3×21. 9
外・易学啓蒙通釈口義、内・啓蒙通釈
船橋蔵書(朱文)
和文17行 無界
朱・句点、傍線 墨・訓点
奥書等なし
重要文化財。表紙題簽に「易学啓蒙通釈口義上
之二」、題簽下に「一柏講月舟聞書」(双行)、
扉に「一柏講、月舟聞書 七冊之内」とあり。

扉左肩に「易学啓蒙通釈口義上之二、啓蒙口義
三冊」とあり。
清家文庫 1-62 エ4貴 944934

012

易经伝義鳩巢先生講義 室鳩巢著 筆写者不詳
江戸末期
1帙7冊7巻 25. 1×18. 5
外・鳩巢先生易伝講義、内・周易経伝程朱伝義
鳩巢先生講義、易经易伝義鳩巢先生講義、易伝
鳩巢先生講義
蔵書印なし
10行20字 注双行 無辺無界
朱墨書き込みなし
奥書等なし
帙背題簽「易伝講義」。
谷村文庫 1-62 エ2 91000943
~49

013

易经文字部類集 上下 皆川淇園著 自筆稿本
文化4年
1帙2冊 26. 2×19. 2
外・易经文字部類集、内・なし
蔵書印なし
10行 注双行 四周单边有界
朱墨書き入れなし
奥書・上冊「文化四年丁卯、余居喪而強読葬禮
之暇、継家先生之志集録易中文字而十一月廿二
日卒業」
1-62 エ1貴 866579

014

易学開物 皆川淇園著 自筆稿本 筆写年不詳
1冊 27. 5×19
外内題異同なし
蔵書印なし
10行 四周单边有界
朱墨書き入れなし
奥書等なし
巻頭に「日本平安皆川愿伯恭著」とあり。
1-62 エ2貴 866578

015

易原翼 皆川淇園著 自筆稿本 筆写年不詳
1冊 仮綴 27. 2×19. 3
外・易原翼、内・なし
蔵書印なし
11行 無辺無界

書き入れあり
奥書等なし
後半は「易学開物解」
1-62 エ3貴 866582

016
周易繫辭伝図 皆川淇園著 自筆稿本 筆写年不詳
1帙2冊 27. 2×19
外・周易繫辭伝図、内・なし
蔵書印なし
10行20字 上下单边左右辺有界
朱墨書き入れなし
奥書等なし
図は朱藍二色。表紙右下に「有斐斎蔵」。
1-62 シ1貴 866573

017
周易成卦 皆川淇園著 自筆稿本 筆写年不詳
1帙2冊 26. 4×19
外・周易成卦（上・下）経、内・なし
蔵書印なし
10行 上下单边左右双辺有界
朱墨書き入れなし
奥書等なし
1-62 シ2貴 866574

018
周易繫辭伝図釈 皆川淇園著 自筆稿本 筆写年不詳
上下2冊 27. 2×18
外・周易繫辭（上・下）伝図釈 内・なし
蔵書印なし
10行 四周双辺有界
朱墨書き入れなし
奥書等なし
1-62 シ3貴 866575

019
周易十撰釈例 皆川淇園著 自筆稿本 筆写年不詳
1冊 27×18. 5
外内題異同なし
蔵書印なし
和文10行 四周单边有界
朱墨書き入れなし
奥書等なし
巻首（著者欄）に「平安皆川愿著」とあり。
1-62 シ4貴 866577

020
周易釋解 皆川淇園著 自筆稿本 筆写年不詳
2帙15冊 仮綴 26×18
外内題異同なし
蔵書印なし
10行 注双行 四周单边有界
ままた朱句点あり
奥書等なし
表紙に文化八年未十一月廿一日に上梓を願い出、同十二月十一日に許可さる旨の書入れ有り。巻首に「日本平安皆川愿伯恭学」。
1-62 シ5貴 866562

021
成卦図 皆川淇園著 自筆稿本 筆写年不詳
1帙2冊 27. 2×19
外・成卦図、内・なし
蔵書印なし
11行
朱墨書き入れなし
奥書等なし
表紙下に「有斐斎」とあり。朱、藍、濃淡四色で塗り分け。
1-62 セ1貴 866576

022
著ト考誤辨正 皆川淇園著 自筆稿本 筆写年不詳
1冊 27. 2×19
外内題異同なし
蔵書印なし
10行20字
朱・句点 墨・和訓、訓点（まま）
奥書等なし
表紙に「有斐斎家本」とあり。巻首に「日本平安皆川愿著」
8-81 シ1貴 866580

023
乾坤考 大田元貞（錦城）著 筆写者不詳 文政6年跋
1帙3冊 30. 6×22. 7
外内題異同なし
畠山氏（白文、表紙）
8行17字 無辺無界
ままた朱句点あり
奥書・「文政六年癸未九月九日、元貞識」
序・「文政改元戊寅八月二十六日、元貞識」
谷村文庫 1-62 ケ1 91000954

易占 著者不詳 筆写者不詳 室町期

1冊 27. 2×21. 2

外・易占、内・なし

船橋蔵書(朱文)

四周单边有界

朱墨書き入れなし

奥書・「以或本加校正了(花押)」

清家文庫 1-62 エ1貴 913246

029

易占 著者不詳 清原師賢筆か 筆写年不詳

1冊 仮綴 24. 7×17. 3

外・易占、内・なし

蔵書印なし

和文

朱墨書き入れなし

奥書等なし

表紙中央上部に「備忘 易占」とあり。

清家文庫 1-62 エ2貴 913271

030

周易伝授式 著者不詳 清原業賢筆 筆写年不詳

1冊 27. 2×21. 2

外内題異同なし

船橋蔵書(朱文)、船橋(白文)

16行26～27字

朱・句点、傍線

奥書等なし

題下に「青松」二字。扉の題は宣賢筆。

清家文庫 1-62 シ1貴 913247

031

周易図暦略訣 著者不詳 清原枝賢、国賢等筆

天文19年

1冊 墨付78丁 26. 7×20. 8

外・周易図暦略訣、内・なし

東(黒文)、船橋蔵書(朱文)

8行5段

朱墨書き入れなし

卷末に、「右1冊 吾祖老環翠先君御自筆 加校正本 卦筮書様命期等之儀不違一字、令書写者也、不出、于時天文第十九曆仲秋十又三日、大外史清原(花押)東(朱文)」。

天正二年、天文十三年甲辰二月十六日乙酉、永祿九年丙寅七月六日乙酉、元龜元年庚午正月廿六日甲午、元龜三年壬申十二月十八日の日付あり。表紙に「青松」2字あり。

清家文庫 1-62 シ2貴 9132534

024

周易要事記 著者不詳 清原経賢筆 筆写年不詳

1冊 仮綴 28. 1×20. 0

外・易要事記、内・周易要事記

蔵書印なし

11行22～24字 無辺無界

朱・句点 墨・訓点、和訓

奥書等なし

和文まじり。卷末に「是ヨリ以下ハ正義ニヨッテ抄ス 故ニ不写之」と書き込み。

清家文庫 1-62 シ5貴 926393

025

周易要事記 著者不詳 永井清昌筆 筆写年不詳

1冊 27. 8×20. 0

外内題異同なし

蔵書印なし

15～17行 無辺無界

朱・句点、傍線、ままだ訓点あり

奥書・「此一冊以津田松隣所持之本命永井清昌

令書写一校早(虫食い)、元禄十一戊寅年三月

中旬 給事中清原弘賢「弘賢」(朱文)」

船橋弘賢所持本。和文まじり。

清家文庫 1-62 シ7貴 926395

026

周易ト筮之抄 著者不詳 筆写者不詳 享保元年

1冊 仮綴 24. 2×17. 5

外・周易ト筮之抄、内・なし

蔵書印なし

ほぼ10行 無辺無界

朱・傍線、書込み 墨・訓点、和訓

奥書・「享保元年吉月吉日以田中親長本令書写

之了、号東泉先生□為賢」

本館において1冊に合綴す。

清家文庫 1-62 シ6貴 926404

027

六十四卦飛伏六親備忘 清原師賢著 清原師賢筆

文化6年

1冊 仮綴 横 13. 8×20. 3

外・六十四卦飛伏六親備忘、内・なし

蔵書印なし

朱墨書き入れなし

奥書・「文化己巳仲冬書写了」

表紙右下に「博士師賢」とあり。

清家文庫 1-62 ロ1貴 926377

032

易占揆方 著者不詳 筆写者不詳 江戸末期
 坤冊のみ 1冊 仮綴 19×11.7
 外・揆方、内・易占揆方
 蔵書印なし
 和文9行
 朱墨書き入れなし
 奥書等なし
 清家文庫 1126 87023000

[書類]

033

尚書古鈔本 清原宣賢筆 永正11年
 1帙乾坤2冊 桐箱入り 27.2×21.4
 外・尚書古鈔本、内・尚書
 (乾冊)天師明經儒(朱文)、宣条(朱文)、
 東(朱文) (坤冊)東(朱文)
 7行14字 注双行 四周单边有界
 朱・ヲコト点 墨・訓、和訓、圈癸
 奥書・乾「本云、嘉應三年三月十五日校摺本。
 在判。直講近業御判／永正十一年三月十四日以
 唐本書写之、即加朱墨訖。少納言清原朝臣(花
 押)。建長三年七月廿六日以家秘説奉授臣相尊
 閣畢。博士清原仲宣。／以右奥書本校正之加點
 無相違者也。宣賢(花押)」 坤「永正十一年
 六月廿日以唐本書写之加朱墨訖、／少納言清原
 朝臣(花押)／天文二年正月七日加點重校正了、
 ／天文七年十月八日十三日 三ヶ度講之」坤冊
 卷首欄外に「宣賢」とあり。
 坤冊卷首欄外に「宣賢」とあり。清原氏旧蔵本。
 乾冊・古文尚書 洪範一微子之命。坤冊・古文
 尚書 君奭一立政。「乾」印あり。
 1-63 シ5貴 別 86774

034

尚書聴塵 (巻3-13) 清原宣賢著 清原宣
 賢筆 筆写年不詳
 1帙5冊 27.2×21.2
 外・尚書抄(巻4-10)、尚書聴塵(巻3、
 11-13)、内・尚書、第4冊扉題・尚書秘
 抄
 船橋蔵書(朱文)
 和文17行 無辺無界 但し第4冊(巻9~1
 0)は16行上下界あり
 朱・句点、傍線 墨・頭注
 巻13奥書・「以正義大全重可書改之」
 重要文化財。
 清家文庫 1-63 シ4貴 944924

035

尚書抄 (巻3、6、8) 清原宣賢注 国賢筆
 か 筆写年不詳
 1帙3冊 26.0×20.1
 外・なし、内・尚書
 船橋蔵書(朱文)
 和文 巻3・14行、巻6と8・11行 無辺
 無界
 朱・句読、傍線、訓点、書き込み 柱に「書
 和注」及び巻数・葉数の書き込みあり
 奥書・巻六「拾遺清原国賢」 巻八「侍従清原
 国賢」
 題簽下に「青松」の二字あり。
 清家文庫 1-63 シ1貴 913252

036

尚書抄(巻1~13) 著者不詳 筆写者不詳
 筆写年不詳
 2帙13冊13巻 仮綴 27.3×21
 外内題共に「尚書」
 天師明經儒(朱文)、伏原(白文)、宣光之印
 (白文)。宗密(白文)・大通(朱文)をそれ
 ぞれ他の印と重押
 16行 四周单边無界 (抄、和文)
 (経文) 朱・ヲコト点 墨・訓点
 奥書等なし
 1-63 シ7貴 98069

037

尚書抄(巻1・2) 清原宣賢講 清原宣賢筆
 筆写年不詳
 1帙2冊2巻 27.3×21
 外・なし、内・古文尚書、尚書、扉・尚書抄
 天師明經儒(朱文)、清原(朱文)、宣光之印
 (白文)
 和文17行 無辺無界
 朱点・傍線、句点
 奥書等なし
 第2冊遊び紙に「宣賢卿校写尚書抄」との貼紙
 あり。
 1-63 シ8貴 107454

038

尚書抄 著者不詳 清原在賢筆 筆写年不詳
 1冊 仮綴 27.5×19.1
 外・尚書抄、内・なし
 蔵書印なし
 和文11行 無辺無界
 まま付箋あり

奥書等なし

初丁裏に「舟橋蔵書、以祖先後浄居公尚書抄御
勘書 今度更書写可秘々々、全是深恩、侍講博
士三位在賢」と識語あり。表紙・雲形模様。書
名下に「再秘」。

清家文庫 1-63 シ3貴 926384

039

書経釋解 皆川淇園著 自筆稿本 天明5年

1帙4冊4巻 仮綴 27×18.3

外内題異同なし

蔵書印なし

10行20字 注双行 四周单边有界

朱・句点 墨・訓点

奥書等なし

表紙に、文化八年末十一月廿一日、上梓を願ひ
出、同十二月十一日に許可さる旨の書入。巻末
の後序に「寛政十二年庚申冬十二月 淇園受業
末弟伏瞻 米谷寅子虎謹撰」とあり。序「天明
乙巳秋九月平安皆川愿序」。

1-63 シ3貴 866561

040

尚書漢注攷 海保元備著 自筆稿本 筆写年不詳

3帙18冊26巻 23.6×17.2

外内題異同なし

室邨島田氏家蔵図書（朱文）、島田氏双桂楼収
蔵（朱文）、海保先生自所書録（朱文）、海保
先生遺書（朱文）、島田礼読書記（朱文）

11行 上下单边左右双边有界

朱墨書き入れなし

奥書等なし

故島田博士蔵。海保元備手録本（稿本）。見開
に「海保先生直所書録」（朱文）とあり。

1-63 シ9貴 114451

〔詩類〕

041

詩経古写本（毛詩鄭箋卷12-18、節南山之什）

筆写者不詳 筆写年不詳

4冊合綴1冊 27×20.4

外・詩経古写本、内・毛詩

尾藩水川進図書記（朱文）、宗尤（朱文）

7行14字 注双行 单边有界

朱・ヲコト点、句点

奥書等なし

題簽に「清家模本」とあり。「清家文庫 1-
63 モ2貴」の模本。

1-63 シ4貴 67274

042

毛詩 筆写者不詳 筆写年不詳

1帙2冊 仮綴 26.8×20.5

外内題異同なし

元保（朱文）

10行22字 無辺無界

朱・句点、圈点 墨・訓点、和訓、語注

奥書等なし

毛鄭の解釈に従って訓読したもの。清家抄本の
訓読本に相当する。「訓読毛詩鄭箋」とでも名
づくべきもの。巻10に乱丁あり

清家文庫 1-63 モ1貴 913244

043

毛詩 （漢）鄭玄箋 筆写者不詳 筆写年不詳

9冊巻第1-20（5、6を欠く） 26.3
×20.5

外内題異同なし

船橋蔵書（朱文）

7行14字 注双行 四周单边有界

朱・ヲコト点、句点 墨・訓点、和訓、圈発

奥書・巻1末「承安四年九月十九日朝間詰老眼
加仮字反音等了毛鄭の説既以分／別好事之徒何
不悦目乎 大外史清く判>（以下11条略）

永正十八年五月六日於甘露寺垂相亭講尺了 五

ヶ度 從三位清原宣賢／件奥書環翠軒御筆為備

証本悉書載之、于時慶長三年四月上旬 少内記

賢好」 巻2末「本云、元応二年三月廿六日以

家秘本終夜見合畢曉鐘之間終功而已／朝議大夫

行直学士清原真人く判>／同十一月三日加一

見了 大永元年十月九日於甘露寺垂相亭講尺了

四ヶ度 從三位清原宣賢／慶長二年臘月下旬令

書写了 少内記賢好」 巻7「享祿四年九月廿

日廿三日廿五日 三度講之 環翠軒宗尤」 巻

8「享祿四年九月廿八日十月三日同六日 三ヶ

度講之 環翠軒宗尤」 巻9「奥書云 文和四

年十一月八日感得之畢令相伝嫡孫主水正良賢者

也／沙弥真性御判／享祿四年十月十三日十五日

十一月二日三ヶ度講之 環翠軒宗尤御判」 巻

10「享祿四年十一月四日六日八日三ヶ度講之

環翠軒宗尤」 巻11「享祿五年五月七日九日

兩度講之 環翠軒宗尤朱印」 巻12「享祿五

年五月十一日十三日十五日十八日四ヶ度講之

環翠軒宗尤印」 巻13「応永廿七年後正月十

三日授良宣了 常宗御判／享祿五年五月廿二日

廿四日廿六日三ヶ度講之 環翠軒宗尤 朱印」

巻14「享祿五年五月朔日三日五日三ヶ度講畢

環翠軒宗尤」 卷15「享禄五、六天文二正廿五同廿七日三ヶ度講之 環翠軒宗尤 御判」
卷16「本云、元応二年十一月十三日授申書儒了 大外史 判／暦応四年二月八日授申直講殿畢 直講清原宗元／天文二年正月卅日二月二日同五日同九日 四ヶ度講之 環翠軒宗尤 御判」
卷17「天文三年三月 五ヶ度講之 環翠軒宗尤」 卷18「天文三年五月十一日五ヶ度講終 環翠軒宗尤」 卷20「天文四年五月廿日 此卷講畢 環翠軒宗尤」
重要文化財。
清家文庫 1-63 モ2貴 944939

044

毛詩抄 清原宣賢著 清原業賢筆 筆写年不詳
1帙10冊20巻 27×20.5
外・毛詩抄、内・毛詩
伏原蔵書（白文）、天師明経儒（朱文）、宣光之印（白文）。なお宗密（朱文）・大通（朱文）をそれぞれ他印と重印
和文14行 無辺無界
まま朱点あり
奥書等なし
第1冊巻末に來歴記あり。
1-63 モ1貴 74709

045

毛詩抄 著者不詳 筆写者不詳 筆写年不詳
2帙20冊20巻 27×20.5
外・なし、内・毛詩、毛詩詩
井上氏（白文）
和文11行 無辺無界
朱点あり
奥書・第一冊巻末「右抄者、環翠所講、万生私記也。依懇望、令伝出者也」
1-63 モ3貴 111201

046

毛詩聴塵 清原宣賢、業賢筆 筆写年不詳
1帙11冊20巻 27×20.5
外・詩経抄、扉・毛詩聴塵、毛詩抄、内・毛詩聴塵、毛詩
宣条（朱文）、伏原（白文）、青云器（白文）、鈴鹿氏（朱文）他
和文17～22行 無辺無界
朱・句点、傍線
巻10巻尾に「侍従三位清原宣賢私抄之（花押）」
久原房之助寄贈本。

1-63 シ6貴 第1冊168508、他は98068

047

詩経図略 著者不詳 筆写者不詳 享和元年
1冊 24×17
外・詩経図略、内・なし
蔵書印なし
朱・句点
奥書・「享和元年九月十四日令書写之 左武衛次将（花押）」
表紙に「舟橋蔵書」とあり。巻頭欄外に「師賢」とあり。
清家文庫 1-63 シ2貴 913266

048

詩経国風図 皆川淇園著 自筆稿本 筆写年不詳
1冊 27×18.3
外・詩経国風図、内・なし
蔵書印なし
四周単辺
朱墨書き入れなし
奥書等なし
題簽に「有斐斎蔵」。
1-63 シ2貴 866567

049

詩経小雅図 皆川淇園著 自筆稿本 筆写年不詳
1冊 27×18.3
外・詩経小雅図、内・なし
蔵書印なし
四周単辺
朱墨書き入れなし
奥書等なし
淇園稿本。
1-63 シ1貴 866568

050

詩経小識 稻生若水著 筆写者不詳 江戸末期
1冊 23.9×18.0
内・詩経小識 扉と目録・詩経小識初稿
内山（白文）、金氏図書之記（朱文）
10行15字 無辺無界
朱・句点
奥書等なし
巻末に「文政三年四月吉日」の識語あり。
谷村文庫 6-21 シ1 91006080

051

詩経小識 稲生若水著 春水筆 文政6年

1冊 23.4×16.5

外目録題・詩経小識初稿

蔵書印なし

11行20字 四周单边有界

朱・書き入れあり

奥書・「宝永六年十月初五日、文政六年九月廿四日、春水写」

版心に「青藍堂蔵」とあり。跋「稻義謹識」

谷村文庫 6-21 シ2 91000608

1

052

読朱氏詩伝 太宰純著 筆写者不詳 筆写年不詳

1冊 27×19.5

外内題異同なし

町田璞印（白文、最終丁の裏と初丁の表）

10行20字 無辺無界

朱墨書き入れなし

奥書等なし

後序「享保十五年八月辛丑太宰純」。

谷村文庫 1-63 シ9 91001016

[礼類]

053

周礼疏（巻1-3、7-8、12-14、18-40）（唐）賈公彦等著 筆写者不詳 筆写年不詳

15冊33巻 26.7×21

外・周礼正義 内・周礼疏

船橋蔵書（朱文）

10行20字 四周单边有界

朱墨書き入れなし

奥書等なし

重要文化財。船橋家旧蔵本。単疏本。巻4~6、9~11、15~17の9巻を欠く。外題は清原業賢筆か。秋官の初め、41~50を欠く。

清家文庫 1-64 シ2 貴 944917

054

儀礼図（宋）楊復撰 清原業賢筆 筆写年不詳

2帙6冊 全17巻 27.0×21.4

外・儀礼、内・儀礼図

船橋蔵書（朱文）

10行20字 注双行 四周单边有界

朱墨書き入れなし

奥書等なし

紹定戊子（元年）の楊復序を有する宋版より転写。

清家文庫 1-64 キ2 貴 913251

055

郷射礼攷 皆川淇園著 自筆稿本 筆写年不詳

1冊 22.5×16

外・郷射禮攷 内・肆射考説

蔵書印なし

和文10行 四周单边有界

朱墨書き入れなし

奥書等なし

表紙題下に「有斐斎蔵」。巻頭に「平安皆川愿伯恭著」、扉付箋に「全三十冊」という。

8-70 コ1 貴 866585

056

大戴礼記 上（漢）戴德著（朝鮮）吳景賢筆 清原秀賢点 慶長4年

1冊（上巻のみ。主言第三十九より勸学第六十四まで） 26.5×20.1

外・大戴礼、内・大戴礼記

船橋蔵書（朱文）

10行20字 四辺单边有界

朱・句点、傍線

奥書・「大戴礼両策、借得唐本課朝鮮儒生吳景賢令謄写了／于時慶長四己亥仲秋廿九、校合之次加朱句読者也／吏部郎中清原（花押）」（朱筆）

清家文庫 1-64 タ1 貴 913269

057

礼記 清原宣賢著 清原宣賢筆 筆写年不詳

1冊 27.2×21

外・なし、内・礼記

蔵書印なし

和文17行 無辺無界

朱・句点、傍線

奥書等なし

巻末に「清三位入道宗尤抄之（花押）」とあり。巻1のみ。

1-64 ラ2 貴 64445

058

曲礼抄 清原宣賢著 筆写者不詳 筆写年不詳

下1冊 仮綴 26.2×20

外・曲礼抄、内・曲礼

蔵書印なし

和文13行 無辺無界

朱・句点
奥書等なし
表紙題下に「共二冊」。
清家文庫 1-64 キ1貴 913241

059

月令抄 清原宣賢著 筆写者不詳 筆写年不詳
1帙2冊 26. 3×20. 0
外・月礼抄、内・礼記卷五月令第六
蔵書印なし
和文12行 無辺無界
朱墨書き入れなし
奥書等なし
宣賢自筆本を転写。巻頭一葉に啓蒙通釋なる別
本を付す。本文第一葉題下「享祿四年壬五月環
翠軒宗左〔尤〕抄之」。
清家文庫 1-64 ケ1貴 913240

060

月令抄 清原宣賢講 筆写者不詳 筆写年不詳
2帙2冊 27×20. 5
外・なし、内・礼記卷第五月令第六
大通（朱文）・宗密（朱文）をそれぞれ他印と
重印。
12行 無辺無界
朱墨書き入れなし
奥書等なし
内題下に「享祿四年壬五月環翠軒宗尤抄之」と
模写。
1-64 ケ1貴 64446

061

礼記釋解 皆川淇園著 自筆稿本 筆写年不詳
1帙5冊 第1冊は24. 1×15. 2、第2
～5冊は25. 2×16. 2
外内題異同なし
蔵書印なし
10行21字 第1冊・注双行 四周双辺有界
朱・一部あり（第1冊）
奥書等なし
巻頭に「平安皆川愿学」とあり。
1-64 ラ1貴 866563

〔春秋類〕

062

春秋左氏伝 幸翁（元保）筆 天文14～15年
1帙3冊 26. 8×20. 5
外・左伝、内・春秋経伝集解

元保（朱文）
9行21字 無辺無界（第2冊の一部に上下界
あり）
朱・第2冊に傍線
奥書・第1冊「天文十四季春王正月廿又七〇書
之（花押）」「元保」（朱印）」 第3冊「天文
丙午〇〇王正月三十之非 幸翁（花押）」「元
保」」
表紙題下に「青松」2字あり。僖公二十七年よ
り襄公元年まで。
清家文庫 1-65 シ1貴 913243

063

春秋経伝集解（巻11-30） 著者不詳 清原
宣賢他筆 筆写年不詳
3帙20冊 27×21. 2
外・左伝、内・春秋経伝集解、春秋・左伝
蔵書印なし
経伝と杜預注・8行17字 四周单辺有界、
集解・22行 無辺無界
朱・ヲコト点、句点、墨・訓点（経伝および杜
預注）
経伝、注部分は一部版本張りませ。一葉毎に宣
賢の筆になる孔穎達疏を記す。巻11宣12年
～終わりまで。
1-65 シ5貴 87671

064

春秋経伝集解（巻1-9、19、21-23、2
5-30） 筆写者不詳 永正16年～大永2
年
2帙11冊30巻 和27. 0×21. 2
外・左伝句解、内・春秋経伝集解（上帙）、春
秋経伝句解（下帙）
東（朱文）、船橋蔵書（朱文、第2冊以下）、
国賢（白文）
10行21字 注双行 無辺無界
朱・ヲコト点、句点、訓点（注） 墨・和訓、
訓点（経文）、圈点、声点、清濁
巻1隠公第一の巻尾に「永正十四、十一、七了」
巻3莊公第三に「永正十六、四、十五了」 巻
4閔公第四に「永正十六、四、廿七了」 巻5
公上に「永正十六、臘、初二了」 巻6僖中に
「永正十六、十一、十四了」 巻7僖下に「永
正十七、二、七了」 巻8文上に「永正十七季
春十日了」 巻9文下に「永正第十七仲秋六日
了」 巻19襄六に「天文三正廿二了」 巻2
1昭二に「享祿元、閏九、廿四了」 巻22昭三
に「天文元、十一、七了」 巻23昭四に「大

永五、八月十四了」 卷25昭六に「大永三、九、四了」 卷26昭七に「大永三、十、三了」 卷27定上に「大永三、七、十四了」 卷28定下に「大永三、八、六了」 卷30哀下に「大永二、孟夏、十五了」
第1冊表紙題下に「青松」とあり。
清家文庫 1-65 シ2貴 926348

065
春秋左伝抄 (卷17-18、21、27) 清原宣賢筆 筆写年不詳
1帙4冊 27. 2×21. 2
外・左伝抄、内・春秋(1、2、4冊)、左伝(3冊)
伏原(白文)、船橋蔵書(朱文) (第2冊以外は塗抹)
15行 卷17と18・四周单边無界、卷21と27・無辺無界
朱点あり
奥書等なし
第一冊巻頭に「環翠軒宗尤私抄之」。
1-65 シ3貴 98064

066
春秋抄 著者不詳 筆写者不詳 筆写年不詳
1帙8冊30巻 28. 8×20. 9
外・春秋抄、内・春秋経伝集解、序題・春秋左史伝
今出河蔵書(朱文)
和文11行 無辺無界
朱墨書き入れなし
奥書等なし
巻頭「春秋左氏傳」、第8冊末に「永享三年辛亥夏四月二十九日講畢也」とあり。
谷村文庫 1-65 シ3貴 763386

067
左伝聴塵 (卷12-16、20、22-26、28-30) 清原宣賢聞書並筆 嘉慶2年
2帙12冊 27. 2×20. 3
外・第1冊のみ左伝聴塵、他は春秋抄、内・春秋
船橋蔵書(朱文)
和文16~18行 15・16・20のみ上下有界
朱・句読点、固有名詞等に傍線
卷29「宝寿院常宗(予六代祖)後宝院常忠(予祖父)等御講聞書并予/侍講席於全部之聞書、且正義直解以下引合之抄之/仍不修飾言詞不及

草案、後日清書之時可直改/而已。侍従三位入道清原宣賢/環翠軒宗尤(花押)」 卷30
「嘉慶二年十二月廿七日為卿公加點而已 少納言清原御判(御判如此)」予左伝以如此之御奥書本加点了、環翠軒宗尤(花押)/俗清侍従三位清原宣賢」咸公元年から終まで。
重要文化財。巻頭に「春秋」とあり。卷30巻末奥題下に「家本如此」とあり。
清家文庫 1-65 サ1貴 944923

068
左史提要 著者不詳 筆写者不詳 筆写年不詳
1帙1冊 22. 7×16. 5
外・左史提要、内・左伝
蔵書印なし
10行18字 上下单边左右双边有界
朱墨書き入れなし
奥書・「江都楷堂木村穀士果纂 甲寅十一月十七夜卒業 同月十又九日点朱」(「同月」以下朱書)
木村浩吉寄贈本。
1-65 サ1貴 27202

069
春秋穀梁伝 (卷1-20) (宋)范寧集解
(唐)楊士助疏 筆写者不詳 筆写年不詳
1帙2冊20巻 29. 7×21. 6
外内題異同なし
船橋蔵書(朱文)、天師明経儒(朱文)、清原尚賢(朱文、塗抹)
8行15字 左右双边上下单边有界
朱・句点、訓点(序及び卷1の第2葉表まで)
柱に穀梁伝上・下、葉数の書き入れ
奥書等なし
清家文庫 1-65 シ3貴 926397

[孝経類]

070
古文孝経 (漢)孔安国伝 清原経賢筆か 筆写年不詳
1冊 26. 6×17. 6
外内題異同なし
蔵書印なし
8行15字 注双行 無辺無界
朱・ヲコト点、句点 墨・レ点、和訓
奥書等なし
清家文庫 1-66 コ2貴 913276

071

古文孝経 (漢) 孔安国伝 筆写者不詳 筆写年不詳

1冊 26. 5×20

外内題異同なし

平叔(白文)、黄白堂庫内(朱文)、清門之後学(白文)他

12行15字 無辺無界

朱・ヲコト点 墨・訓点、和訓

奥書・「永正七年十月日右少将(花押)、『字平叔』(朱文)」

後補2丁に司天監安平叔の跋文(享保十九年)あり。

清家文庫 1-66 コ4貴 926349

072

古文孝経 (漢) 孔安国伝 清原在賢筆 文政10年

1冊 24. 7×17. 2

外内題異同なし

蔵書印なし

9行14字 無辺無界

朱・ヲコト点、訓点、和訓、音訓、清濁指示

墨・和訓、レ点 孝・常・則・師などの字に欠筆

奥書・「以祖父篤信公御書写書籍書写并加家点一校了/于時文政丁亥仲夏某日/以祖先後浄居公御書写書籍再加家点了/同日近侍累世儒徒三位大博士在賢」

表紙に「従三位博士」とあり。

清家文庫 1-66 コ6貴 926383

073

古文孝経 (漢) 孔安国伝 清原経賢筆 万治3年

1冊 26. 8×20. 0

外内題異同なし

船橋(白文)、清原/経賢(朱文)、船橋蔵書(朱文)、天師明経儒(朱文)、栄相(朱文)

7行14字 注双行 無辺無界

朱・句点、傍線 墨・訓点、和訓

奥書・「本云、慶長三八月廿六日於高雄山神護寺法身院之門書之、賢好判二十一才、万治三庚子三月十六日於伏原殿書写之了、清原朝臣栄相(花押)」

清家文庫 1-66 コ10貴 926407

074

古文孝経 (漢) 孔安国伝 筆写者不詳 筆写年不詳

1軸 卷子 箱入 もと折本を改裝したもの

縦29. 3 界線内22. 4×2. 9 楮紙

外内題異同なし

船橋蔵書(朱文)

行11字 注双行 单边有界

朱・ヲコト点、博士家点 墨・声点、和訓 欄外に頭注あり

奥書・「延文元年十月二十三日授于愚息豊隆了、直講清原教氏」また、「本奥云、仁治二年九月十六日、正五位下行参河守清原真人在判/自建長五年七月一日授愚息直隆了、前参河守在判」重要文化財。箱書・「清家累代家訓古文孝経、御読書始以此卷本勤之」(双行)外題下に「不出」とあり。

清家文庫 1-66 コ15貴 944921

075

孝経御注 唐玄宗注 筆写者不詳 筆写年不詳

臣下序(初欠)、卷1~9(末欠)、17~18(末欠) 1冊 卷子 箱入 紙縦28. 7

外・なし、内・孝経御注、箱書・御注孝経残卷

蔵書印なし

行12~14字 界線縦23. 0×2. 5

朱・ヲコト点、句点 墨・四声点、訓点、和訓、音訓符

奥書等なし

重要文化財。紙背に建保5年、承久3年等の文書あり。軸なし。

清家文庫 1-66 コ14貴 944920

076

孝経述義 (隋) 劉焯著 清原弘賢筆か 筆写年不詳

1冊 27. 3×20

外・なし、内・孝経述義

蔵書印なし

19行28字 無辺無界

朱・句点、傍線 墨・訓点、和訓

奥書等なし

清家文庫 1-66 コ7貴 926398

077

孝経述義 (隋) 劉焯著 筆写者不詳 筆写年不詳

1帙2冊2巻 箱入 巻1は30. 2×22. 5、巻2は27. 1×20. 5

外内題異同なし

国賢（朱文）、船橋蔵書（朱文）

巻1・13行27字、巻2・10行17字

朱・訓点、句点、ままたコト点、和訓 墨・訓点、和訓

奥書等なし

重要文化財。表紙に「青松」二字あり。扉裏に「明応六年六月日藏人宣賢贈之」とあり。紙は漉き返し。第1冊と第2冊は別人の手。

清家文庫 1-66 コ13 貴 944918

078

孝経述義序並古文孝経序 著者不詳 清原師賢筆
か 筆写年不詳

1冊 仮綴 24.5×18.2

外・なし、序・孝経述義、古文孝経

蔵書印なし

10行14字 無辺無界

朱墨書き入れなし

奥書等なし

表紙なし。

清家文庫 1-66 コ5 貴 926381

079

古文孝経抄 講者不詳 光清筆 元龜4年

1冊 25.8×16.7

外・孝経抄、扉・孝経私（ママ）

覚甫（朱文）、栄相（黒文）

和文9行

朱・句点、傍線

奥書・「元龜四年三月十八日書写校了 光清四五」

表紙題下と扉に「光清」二字あり。

清家文庫 1-66 コ1 貴 913245

080

古文孝経抄 清原宣賢講 園宗筆 天正9年

合綴1冊 25.5×20.4

外・なし、序・古文孝経

覚甫（朱文）、栄相（黒文）

18行 四周単辺無界

朱・ヲコト点（本文）

奥書等なし

巻頭題字下に「宣幸」の2字あり。「清三位入道宗尤判宣幸」とあり。「天正九仲穉日於石益帰春軒下書写之、園宗」とあり。「清家文庫1-66 コ11 貴」と同じ本を写す。巻尾題下に「抄畢」の2字あり。

清家文庫 1-66 コ2 貴 64447

081

古文孝経抄 清原宣賢著 園宗筆 筆写年不詳

1冊 27.7×19.8

外・なし、内・古文孝経

蔵書印なし

18行 注和文 無辺無界

朱・本文にヲコト点、注に句点と訓点 墨・本文に訓点と和訓

本文末に「清三位入道宗尤判 宣幸」とあり、さらに巻末に「孝経論議」を付す。その裏に奥書「天正九仲穉日於石益帰春軒下書写之、園宗」とあり。序題下に「則賢」とあり。

本文に和文の注あり。

清家文庫 1-66 コ11 貴 926406

082

孝経抄 著者不詳 清原業賢筆（一部国賢筆）

大永8年

1冊 27.7×22

外・孝経抄、内・古文孝経

国賢（白文）

和文17行 無辺無界

朱・句点、傍線

奥書・「大永八年八月十日遂写功訖。外史清原朝臣（花押）」

重要文化財。表紙題下に「青松」2字あり。雲形模様表紙。

清家文庫 1-69 コ12 貴 944940

083

孝経外伝或問 熊沢蕃山著 筆写者不詳 江戸末期

上下2冊 26.1×18.2

外・熊沢蕃山先生標註孝経外伝或問 内・標註孝経外伝或問

蔵書印なし

和文10行 無辺無界

眉欄ま頭注（漢文）あり

奥書等なし

谷村文庫 1-66 コ17 9100109
7-98

084

孝経外伝或問 熊沢蕃山著 筆写年不詳

天地2冊 28.3×19.7

外内題異同なし

邨井書斎（朱文、奥）、巻頭の蔵書印は消印あり。

和文10行 無辺無界

朱墨書き入れなし

奥書等なし

谷村文庫 1-66 コ18 9100109
9~100

085

古文孝経辨 著者不詳 筆写者不詳 筆写年不詳

1冊 仮綴 28.5×21.5

外・古文孝経辨、内・古文孝経

蔵書印なし

13~14行

一部朱点書き込みあり

奥書等なし

扉裏に「船橋家辨」とあり。青地柄表紙。裏表紙を欠く。

清家文庫 1-66 コ3貴 926350

086

孝経啓蒙 著者不詳 真祐筆 万治3年

1帙1冊 28.5×19.5

外内題異同なし

蔵書印なし

11行26字 無辺無界

朱・句点 眉欄書き込みあり

奥書・「万治三年晩秋洛下後生真祐謹写」

1-66 コ3貴 64457

087

孝経大義私記 著者不詳 覚非筆 正保2年

1冊 仮綴 26.5×20.8

外・大義私記 内・孝経大義

蔵書印なし

和文13行

朱・句点、傍線

「不材軒散木叟覺非書之」という、正保二年の奥書あり。

清家文庫 1-66 コ8貴 926414

[四書類]

088

大学 (宋) 朱熹章句 清原則賢筆 筆写年不詳

1冊 26.7×17.5

外・なし、内・大学

蔵書印なし

7行16字 注双行 無辺無界

朱・ヲコト点 墨・句点、和訓

奥書等なし

最終丁に「則賢写之」とあり。

清家文庫 1-66 タ2貴 926370

089

大学 (宋) 朱熹章句 清原在賢筆 天保10年

1冊 30.8×22

外内題異同なし

蔵書印なし

8行14字 注双行 無辺無界

朱・ヲコト点 墨・訓点・和訓

奥書・「此一冊以家本書写一校了 天保十年十一月一日、侍読従二位清原在賢□更加家秘朱墨点了」。

題箋「大学」。眉欄に講義（奉授）記録あり例：同年五月十三日<本文字句>迄奉授。

清家文庫 1-66 タ4貴 926385

090

大学 (宋) 朱熹章句 筆写者不詳 筆写年不詳

1冊 24.0×19.7

外・なし、内・大学

天師明経儒（白文）、清原氏（白文）、宣通之印（朱文）

8行14字 注双行 無辺無界

朱・句点 墨・訓点、和訓

奥書等なし

上下空欄に大量の書き込みあり。

清家文庫 1-66 タ5貴 926413

091

大学 (宋) 朱熹章句 筆写者不詳 天正年間

1冊 25.6×19.2

外内題異同なし

天師明経儒（朱文）、宣光之印（白文）

7行14字 注双行 四周单辺有界

朱・ヲコト点 墨・和訓

奥書等なし

船橋家旧蔵本。柄つき表紙。給事中宣賢の書写本を書写したもの。

1-66 タ5貴 98067

092

大学 (宋) 朱熹章句 清原宣賢筆 永正11年

1冊 27.2×21.3

外内題異同なし

船橋蔵書（朱文）、東（朱文）

7行14字 注双行 四周单辺有界

朱・ヲコト点 墨・訓点、和訓、圈読

奥書・「永正十一年十月廿二日 以唐本終書写之功、即加朱墨訖、少納言清原朝臣（花押）」、

「宣賢、大永四、七、廿七、八月二日同四日、
三ヶ度講之。大永五、八、九、同十二日、同
十五日、三ヶ度講之。天文十六於越州私宅講
之。天文十六於越州一乗谷安養寺講之」
重要文化財。船橋家旧蔵本。欄外に「宣賢」。
清家文庫 1-66 タ6貴 944922

093

大学定本 伊藤仁斎（維楨）考訂 筆写者不詳
筆写年不詳

1冊 27.9×20.0

外内題異同なし

蔵書印なし

10行20字

朱墨書き入れなし

奥書等なし

谷村文庫 1-66 タ30 9100124
5

094

大学億 （明）王道著 清原経賢筆か 筆写年不
詳

1冊 上下2巻 仮綴 27.8×19.0

外・なし、内・大学億

蔵書印なし

9行19字 無辺無界

朱・句点、傍線 墨・訓点、和訓

奥書等なし

大学億釈義を附録する。

清家文庫 1-66 タ1貴 913277

095

大学章句抄 朱熹章句 注者不詳 清原師賢筆か
筆写年不詳

1冊 27.6×19.2

外・なし、内・大学、巻尾・大学章句抄、柱・
大学抄

蔵書印なし

和文12行 無辺無界

朱・句点（一部）

奥書等なし

清家文庫 1-66 タ3貴 926379

096

大学抄 著者不詳 筆写者不詳 天文23年

1冊 25.5×16.7

外・なし、内・大学章句

大舎人寮堀尾家蔵（朱文）、高階三子（朱文）

和文11行 無辺無界

朱・句点、傍線

奥書・「天文廿三年甲寅卯月廿七日書畢」儒門
綱目（扉左上）、玄雄（扉右下）

1-66 タ3貴 128433

097

大学抄 著者不詳 筆写者不詳 筆写年不詳

1冊 26×20.3

外・大学抄、内・大学

淡河印記（朱文）他

和文10行 無辺無界

まま眉欄に書き込みあり。

奥書・「伝領従四位上加賀守藤原為周（花押）」

谷村文庫 1-66 タ3貴 763387

098

大学解説 皆川淇園著 自筆稿本 筆写年不詳

1冊 27.5×19.7

外内題異同なし

皆川愿印（白文）

10行20字 無辺無界

朱墨の補正あり

奥書等なし

表紙右下に「有斐斎蔵」。

1-66 タ1貴 866565

099

大学稿 上下 上田耕撰 自筆 天保8年

1帙2冊 26.2×17.2

外：寒郷独学稿、内・大学

蔵書印なし

和文11行 四周単辺有界

朱墨書き入れなし

奥書等なし

序「天保丁酉孟夏日 龍郊耕識」。

谷村文庫 1-66 タ14 9100122
3~24

100

大学章句筆記 三宅重古著 筆写者不詳 筆写年
不詳

1冊 25.9×19

外・大学章句筆記、内・なし

名何郷人（朱文）、六癡社（朱文）、畏斎蔵書
（白文）

10行20字 無辺無界

墨・訓点

奥書等なし

谷村文庫 1-66 タ26 9100123
7

101

中庸 (宋) 朱熹章句 清原枝賢筆 天正元年
1冊 25.0×17.6
外内題異同なし
蔵書印なし
7行14字 注双行 無辺無界
朱・句点、傍線 墨・訓点、和訓
奥書・「右中庸者、儒術之徳業聖門之奥室也、
喜怒哀楽仁義礼知之要也、于爰祐圖律師日々月
々習而誦読之、嗚呼助於我乎／天正元年冬十又
二月中旬／宮内卿清原朝臣（花押）枝賢（朱文）
」
清家文庫 1-66 チ1貴 913250

102

中庸 (宋) 朱熹章句 筆写者不詳 清原宣賢点
筆写年不詳
1冊 27×20.5
外・中庸章句、内・中庸
船橋蔵書（朱）
7行15字 四周单边有界
朱・ヲコト点 墨・和訓 訓点に朱で濁点を附
す。
奥書・「僧俗学徒、関東学士、十三経訓点、清
濁、悉背先儒之説／且失師家之伝、悲哉。予憐
子孫赴邪路、一字不闕点之、亦／清濁字声指之、
為令読易、不依假名使、是亦一之術也、可／深
秘而已。侍従三位清原朝臣（花押）俗名宣賢、
法名宗尤、号環翠軒」
1-66 チ2貴 64450

103

中庸 (宋) 朱熹章句 隠士禅恵筆 弘和2年
1冊 仮綴 25.5×20.8
外内題異同なし
蔵書印なし
8行16字 無辺無界
朱・ヲコト点、訓点、一部圈点にて声点 墨・
和訓
奥書・「時也弘和第二之候、晩春下旬之天、於
大和国宇智郡栄山寺 行宮為末学後要染筆訖。
／隠士禅恵（花押）」
重要文化財。
清家文庫 1-66 チ3貴 944919

104

中庸 (宋) 朱熹章句 筆写年不詳
1冊 26.3×20.8
外内題異同なし
天師明経儒（朱文）
8行15字 注双行
朱・ヲコト点 墨・訓点
奥書・「永正八年六月廿日以唐本遂書写之功。
同加朱墨訖。／加點以證本校合了。少納言清原
朝臣在判。／…枝賢 弘治二、二月於摂州芥川
城松永彈正忠久秀発起」とあるものを書写した
もの。
清原家旧蔵本。「永正六年廿日書写。少納言清
原朝臣在判」とあり。
1-66 チ4貴 98070

105

中庸抄 著者不詳 筆写者不詳 天文22年
1冊 25.5×16.8
外・なし、内・中庸、尾題・中庸章句
大舍人寮堀尾家蔵（朱文）、高階三子（朱文）
他
和文12行
朱・句点、傍線
奥書・「天文廿二年癸巳極月廿六日書写訖」
1-66 チ1貴 128434

106

中庸私抄 注者不詳 清原師賢筆か 筆写年不詳
1冊2巻 27.5×19.0
外・なし、内・中庸私抄章句、上巻尾・中庸私
抄
蔵書印なし
和文11行 無辺無界
朱墨書き入れなし
奥書等なし
清家文庫 1-66 チ2貴 926380

107

中庸講義 室直清（鳩巢）著 筆写者不詳 江戸
末期
1冊 28×20.3
外・鳩巢先生中庸講義 内・鳩巢先生経解類巻、
中庸講義
蔵書印なし
9行19字 注双行 無辺無界
朱墨書き込みなし
奥書等なし
谷村文庫 1-66 チ5 91001255

108
 論語集解 (魏) 何晏集解 清原宣賢点 吉田梵
 舜筆 元龜2年
 5冊10巻 27. 5×20. 8
 外：論語圓珠經 内：論語
 7行14字 注双行 四周单辺有界
 朱・声点ではないヲコト点か 墨・和訓、圈発、
 清濁点、四聲点
 奥書・第五冊巻尾「家本雖有數部本經之異同置
 字之増減共以一揆、其中／有琢磨之秘本、以之
 為準的、假手新写之卒、予加朱墨／累葉家点也、
 孫々子々深秘勿出函底矣／侍従三位清原朝臣宣
 賢御判／右此本以清家本写之／元龜二年六月三
 日／梵舜侍者(花押)」
 題簽下に「枝賢卿自筆之〇〇」とあり。箱書
 「論語集解四冊／右清原宣賢伝来／吉田梵舜抄
 写／御前進講本、蘇峯誌眼福」。第一冊末にヲ
 コト点の凡例を示し、その後「唯神院殿自筆
 ヲ以テ写之」とあり。
 谷村文庫 1-66 ロ1貴 763385

109
 論語 (魏) 何晏集解 清原枝賢筆 天正4年
 1帙2冊 字冊は墨付69丁、宙冊は墨付76
 丁 27. 5×20. 5
 外・圓珠經、内・論語何晏集解
 船橋蔵書(朱文)
 7行14字 注双行 四周单辺
 朱・ヲコト点、句点 墨・訓点、和訓、圈点
 (四声点)
 奥書・字冊「魯論兩冊応亡父三位之嚴命遂／書
 写之功今屈指四十以往也、鳴／呼歳不我述矣、
 後卷雖令亡父卿／証明累葉之秘点不漏一事故為
 ／禁他見、重不加制筆而已／天正四年林鐘二十
 日／司農清原朝臣枝賢」 宙冊「此書全部仰息
 男枝賢令書写之／以累家秘説加朱墨両点輒莫許
 電覽而已／天文第八曆仲春吉曜日、給事中清原
 朝臣(花押)」
 重要文化財。
 清家文庫 1-66 ロ5貴 964400

110
 論語 (魏) 何晏集解 清原良枝筆 天文19年
 1帙上下2冊 上冊は墨付39丁、下冊は墨付
 50丁 箱入 25. 1×17. 5
 外・なし、内・論語
 船橋蔵書(朱文)、船橋(白文)
 7行14字 無辺無界
 朱・句点 墨・和訓、訓点、声点

奥書・下巻「夫以齊家治国之要、莫過乎此書、
 以孝鳴者顔曾也、以德／鳴者孔孟也、以半部鳴
 宋趙普(ママ)也、況於學者乎不可不時習鳴／
 乎一寸璧玉也、漢家本朝賞之翫之可謂龜鏡鳴宝
 而已／抑此兩卷清家中興穀倉院別当正四位下行
 大外記清原／良枝朝臣入道了空之真跡誠子孫宝
 物、何不可過之乎／天文庚戌夏四月日 清原朝
 臣枝賢《東》(判)」
 朱点送仮名あり。重要文化財。下冊奥書に良枝
 真跡のむね枝賢記す「清外史枝賢・天文庚戌夏
 四月」。上冊末に「清外史枝賢「東」(判)」。
 箱書「清原良枝論語 全」。
 清家文庫 1-66 ロ6貴 964407

111
 論語 (魏) 何晏集解 筆写者不詳 筆写年不詳
 1帙2冊10巻 24. 8×20
 外内題異同なし
 伏原(白文)、宣光(朱文)、伏原(朱文)
 7行14字 注双行 四周单辺有界
 朱・ヲコト点 墨・和訓
 永正九年二月九日、永正十七年九月廿三日の宣
 賢の奥書を写し、その後「次の如く言う、「正
 二位清原宣條、正二位清原宣光当家古本代々以
 此家本御読書之時／朱墨之点可然云々他覽他借
 堅用／捨之事」
 1-66 ロ6貴 64448

112
 論語 (魏) 何晏集解 筆写者不詳 筆写年不詳
 1冊(合本) 仮綴 24. 4×19. 8
 外内題異同なし
 天師明經儒(朱文)、宣光印(朱文)
 8行16字 四周单辺無界
 墨・訓点、和訓
 奥書等なし
 1-66 ロ7貴 64449

113
 論語(先進-堯曰) (魏) 何晏集解 宣賢点
 室町末期
 1冊 27×20. 5
 外・なし、内・論語
 蔵書印なし
 7行15字 四周单辺有界 行界線あり
 朱・ヲコト点、濁声点 墨・訓点、和訓
 奥書・「世俗文字読之訓點之字聲、悉失師説、
 後葉以此點并字聲／可爲證。爲易読不依假名使
 点之。爲使幼童易解一術也／侍従三位入道清原

朝臣（花押）」（宣賢自筆）
残本。宣賢手沢、室町末期鈔本。見開きに宣賢
自筆にて「子孫爲可惑文字読清濁一字不闕點之、
同指聲者也／清三位入道宗尤（花押）置字大略
不読之、當読之置字點之。」
1-66 口8貴 64451

114
論語義疏（魏）何晏集解（梁）皇侃疏 清原
良賢筆か 筆写年不詳
1帙6冊 卷2、4-8 箱入 小型本 朝鮮
綴 21. 7×15. 2
外内題異同なし
船橋蔵書（朱文）
9行20字 注双行 四周单边有界
朱・ヲコト点、句点、声点（四声点） 墨・訓
点、和訓
奥書等なし
第8巻末に清原良兼（賢）朱花押あり。重要文
化財。
清家文庫 1-66 口4貴 964399

115
論語義疏（魏）何晏集解（梁）皇侃疏 筆写
者不詳 筆写年不詳
2帙9冊 27×20. 6
外・論語疏義、内・論語義疏
天師明経儒（朱文）、宣条（朱文）
本文8行20字 注双行20字 無辺無界
朱・句読点、一部訓点 墨・訓点（一部）
奥書等なし
舟橋家旧蔵本
1-66 口5貴 64444

116
魯論抄 清原宣賢著 筆写者不詳 筆写年不詳
1帙5冊10巻 26. 2×20
外・魯論抄 扉・論語私抄、論語之抄、箱書・
魯論抄、小口・魯論
蔵書印なし
和文14行
朱・傍線
奥書・巻2末「私抄」 巻4末「秘之私抄」
巻10末「私抄可秘之」
清家文庫 1-66 口2貴 926347

117
論語雅言（清）董增齡著 筆写者不詳 筆写年
不詳

2帙6冊20巻 28. 5×17. 3
外内題異同なし
国子監印
10行22字 四周行界あり
朱墨書き入れなし
奥書等なし
序に「嘉慶二十年乙亥冬十一月既望德清徐養原
謨」とあり。各巻頭に「歸安董增齡述」とあり。
唐本。
1-66 口9貴 202546

118
論語圖略 清原師賢著か 著者自筆 筆写年不詳
1冊 34丁 仮綴 24. 8×17
外・論語図略、内・なし
蔵書印なし
無辺無界
朱墨書き入れなし
奥書等なし
清家文庫 1-66 口1貴 913267

119
論語欄外書 佐藤 坦（一斎）著 筆写者不詳
江戸末期
1帙2冊 24. 1×16. 7
外内題異同なし
水戸青山氏蔵（朱文）、藤原蘭図書記（朱文）
10行20字 無辺無界
朱墨書き込みなし
奥書等なし
まゝ眉欄に書き込み付箋あり。
谷村文庫 1-66 口1 91001263
～64

120
論語郷党図解 宮田華龍著 自筆稿本 文化9年
1冊 24. 4×17. 3
外内題異同なし
鶏冠山房図書（朱文）、騰（朱文）
10行22字 四周单边有界
朱墨書き込みなし
奥書等なし
谷村文庫 1-66 口6 91001271

121
孟子（漢）趙岐注 清原宣賢筆 永正年間
1帙7冊14巻 仮綴包背装 27. 2×21. 5
外内題異同なし、扉・諸経通義

宣條（朱文）、東（朱文）、伏原（白文）、修蘭亭（朱文）

7行14字 注双行 四周单边有界

朱・ヲコト点 墨・訓点

奥書・「永正九年十一月九日 親王御方以文字讀以他本奉授之、今日全部令終其功給者也。宣賢」 第七冊「以摺本書写之、加朱墨記、少納言清原（花押）／永正十四年十月二日 於親王御方講尺申了 宣賢／同十月廿一日申終者也／以他本三ヶ度講說了、宣賢／天文元年八月八日九日於若州小浜栖雲寺竹田舎弟講之了／天文十六年三月廿六日廿八日於越州一乗谷講之／」

「孟子抄」（1-66 モ4貴）と一体の関係にある。

1-66 モ2貴 87673

122

孟子抄 著者不詳 筆写者不詳 近世初

1帙5冊14巻 27×21.5

外・なし、内・孟子

蔵書印なし

和文12行 無辺無界

朱墨書き入れなし

奥書等なし

1-66 モ1貴 963399

123

孟子抄（巻5） 清原宣賢講 筆写者不詳 筆写年不詳

1冊 31.2×22.2

外・孟子抄五、内・なし

和文11行 無辺無界

朱墨書き入れなし

巻尾に「御奥書如此」として「蔵氷軒文翁良賢／環九十軒言翁業忠／少納言清原宣賢」の奥書を写し、さらに、永正14年、天文元年の宣賢講述記を転写す。

谷村文庫 1-66 モ1貴 763388

124

孟子抄 清原宣賢著 清原宣賢筆 永正年間

1帙7冊 27.5×21

外・孟子、序題・孟子

天師明経儒（朱文）、宣條（朱文）、伏原（白文）

和文22行 单边有界

朱点あり

第7冊に「御奥如斯。永正九年十一月九日親王御方以孟子篇叙人之本無之仍先達等未加點又不

読之余至徳三歳講談之次以僻案加點本經点多以違義理之間、又以改正之而已 蔵氷軒文翁良賢、嘉吉元年八月廿五日以曾祖父之御説授嫡男主水正兼直講宗賢、此本御奥書如斯可為証本矣、環翠軒言翁業忠」 第7冊巻末に「孟子篇叙」を附し、その奥書に、「右侍講席卒書之分、不改言辭。不飾文章抄之私又加／正義大全等。師家庭訓須雖無毫釐之差。蒙昧不／敏定可致千里之隔／後葉素隠芟煩不亦宜乎。少納言清原宣賢（花押）」

1-66 モ4貴 107479

125

学庸知言 著者不詳 筆写者不詳 嘉永4年

1冊 22.8×16

外・学庸知言、内・大学知言、中庸知言

正実（朱文）、須藤蔵書（朱文）

12行30字 無辺無界

朱・まま傍線、傍点あり

奥書・「嘉永辛亥春写之于家堂」

谷村文庫 1-66 カ2 9100306

126

四書図略 著者不詳 清原師賢筆 文化2年

1冊 仮綴 28.2×20.5

外・四書図略、内・なし

蔵書印なし

無辺無界

朱墨書き入れなし

奥書・「文化二年乙丑之春二月二十有四日書写訖 少納言兼侍從博士主水正清原師賢」

表紙に「摘取四書図史合攷」、「給事中師賢」とあり。

清家文庫 1-66 シ1貴 913265

127

四書童子訓（巻1大学） 著者不詳 筆写者不詳

筆写年不詳

1冊 25×20

外・四書童子訓、内・なし

継言（朱文）

和文15行

朱・句点、傍線

奥書等なし

山科言継所持本。

清家文庫 1-66 シ2貴 926412

[小学類]

千字文 著者不詳 亀田窮楽筆 筆写年不詳 128
 1冊 26. 5×20
 外・千字文、内・なし
 行雲流水（白文）、□曳尾之印（白文）、翁（朱文）
 每半葉4字
 朱墨書き入れなし
 奥書等なし
 表紙に「窮楽」と貼紙あり。表紙貼付の付箋に「亀田氏、字曳尾、無悶子ト号シ。久兵衛ト称ス。洛西ノ人ナリ。事跡、崎人伝ニ見ユ」とあり。
 8-43 セ1貴 59838

註千字文 （五代）李暹注 筆写者不詳 室町末期 129
 1冊 26. 8×16. 8
 外・注千字文、内・纂図附音集註千字文
 法壽禅菴（黒文）、岱岳之印（黒文）
 9行20字 注双行 単辺有界
 朱・句点、傍線 墨・訓、和訓 眉欄に書き込みあり
 奥書等なし
 古活字本の転写本。極め書に「写本ニシテ紙質書体其ノ他ヨリシテ室町末期ノモノト考勘サル」
 最終葉裏に「宋玄（花押）」
 谷村文庫 8-43 セ1貴 763379

纂図附音増広古註千字文 （五代）李暹註 佐々宗左衛門筆 慶長19年 130
 1冊 26. 5×19. 1
 外・なし、内・纂図附音増広古註千字文
 大泰禅寺（黒文）
 8行 注双行 無辺無界
 朱・句点、傍 墨・訓、和訓 眉欄書き込みあり
 裏表紙に「亥年焦堂老師より／頂戴仕候也（花押）山主」
 古活字本の転写本。巻末に「智空（花押）」を塗りつぶし、その後ろに「慶長十九年甲寅林鐘日書之畢、佐々宗左衛門、花押」
 谷村文庫 4-65 サ貴 2502271

文緯 稲川玄度著 竹所迂叟侗筆 明治28年 131
 32冊 説文緯は5帙31冊（其一2冊、其二29冊）、跋は1帙1冊。 26. 7×18. 5、跋は27. 9×19. 4
 外・説文緯 内・文緯
 製陵久保氏文庫（朱文）
 首2冊のみ9行、他は7行
 朱墨書き入れなし
 奥書・「右説文緯三十冊與序目二冊總計三十二冊内第一冊丙部一闕。明治二十八年一月起筆、三十年十月謄写了。竹所迂叟侗、時年六十八、四十一年夏日大暑全部一読了」
 内容は序（篆書）、目録、古籀彙、字原、序（楷書）、凡例、古音表、総論、本文（1冊欠）。「考声微」と同じ配列と思われる。すべて同一人の手になる。帙題簽に「説文緯」とある。跋に「置塩維裕、明治三十一年一月十九日」とあり。
 4-87 セ1貴 366056、161876

文緯補闕丙集一 （久保）竹所迂叟侗著 筆写者不詳 筆写年不詳 132
 1冊 別に跋等1冊あり。 24. 6×16. 5
 外内題異同なし
 磷（朱文）
 6行
 朱墨書き入れなし
 奥書・「明治丁未五月 七十九翁侗筆」。巻頭題下に「文緯全部三十巻及序目二巻。中僅闕此一巻。以存全部累。予嘗全部写了、欲補之、百方求之、而不能得焉。乃據著書総目、假填補之、以俟博雅之裁定、七十九翁侗識」とあり。
 4-87 セ1貴 161876

字解記聞 著者不詳 筆写者不詳 筆写年不詳 133
 1帙1冊 23. 7×16. 6
 外内題異同なし
 和文12行 四周単辺有界
 朱墨書き入れなし
 奥書等なし
 稿本。解字（字釈）はカナ書き。イロハ配列。題簽「字解記聞 稿本 完」。百々復太郎寄贈。

4-87 シ2貴 47962

134

聚分韻略 僧師鍊著 清原宣賢筆 筆写年不詳
1冊 墨付83丁 25.8×20.7
外・聚分韻、内・聚分韻略
船橋蔵書（朱文）、国賢（朱文）
9行 注双行
朱点あり
奥書等なし
重要文化財 「先」から「嚴」まで。表紙題下に「先到嚴」。裏見返しに「表紙破損仍新令手作畢、享保己亥七月日給事中尚賢」と書き込みあり。表見返し右肩に「祖先遺跡一字万金故以古物存于此」とあり、「先」～「嚴」までの韻目と「青松」二字を有するものを旧表紙に貼付する。巻末には、別書二葉を貼付し、「右二枚故表紙裏也、愛故物存于此」とあり。尾題に「聚分韻略」とあり。巻末に枝賢、国賢の書入れあり。
清家文庫 4-87 シ4貴 964405

135

韻鏡秘抄 著者不詳 筆写者不詳 筆写年不詳
1冊 27.0×19.6
外・韻鏡秘抄 内・勻鏡私考
天師明経儒（朱文）、船橋（白文）、船橋蔵書（朱文）、清原（朱文）、相賢（朱文、朱文の「栄相」に重ねて捺される）
和文11行 無辺無界
朱・句点、傍点線
奥書等なし
清原相賢所持本。表紙に「韻鏡秘抄 完 不出養真堂」とあり
清家文庫 4-87 イ1貴 913275

136

韻鏡手引草 著者不詳 筆写者不詳 文化2年
1冊 31丁 仮綴 24×17.2
外内題異同なし
蔵書印なし
和文
朱墨書き入れなし
奥書・「文化二年三月某日命家僕令書写訖」
底本：天明乙巳年五月平安浅井為信序。舟橋師賢所持本。表紙右下に明経博士（花押）。
清家文庫 1254 87023135

137

指微韻鏡序解 著者不詳 筆写者不詳 天正20年

1帙2冊（緋冊・素冊） 26.6×20.7
外内題異同なし 但し第2冊内題は韻鏡序解
船橋蔵書（朱文）、国賢（朱文）
13行18字 注一字下げ 無辺無界
朱・句点、傍線 墨・訓点、和訓
奥書・（緋冊）「此校合始七月廿六日終八月一日、凡五日之間、自日出至黄昏終日不夾他事、令切磋訖」（素冊）「天正第廿曆林鍾十又一予令發起保先老人講談、今月初同十八日終、但此内十七日欠、第七ケ度、同年孟秋念四重來之時、此本始校合、仲秋初九終」 緋冊見返し「他本此次有八体、後浄居院御抄在焉、仍不書之」 素冊見返し「或抄云道恵上人之五卷鈔云々」
題簽下に「青松」と書き込み。巻末に「大蔵卿清原朝臣国賢」。
清家文庫 4-87 シ3貴 926361

138

反切濫觴 伊藤仁斎（維楨）著 筆写者不詳 筆写年不詳
1冊 22.7×16.7
外内題異同なし
蔵書印なし
12行20字 無辺無界
朱墨書き込みなし
奥書等なし
内容：反切濫觴、双声疊韻考、紐弄軌轍、小学書彙、六書備考、反切綱領。
谷村文庫 4-87 ハ1 91003708

139

諧声図 稲川玄度著 竹所迂叟侗筆 明治30年
1帙2冊 甲～癸部（上中下三冊のうち中冊（両部・丁部）を欠く） 26.5×18.5
外内題異同なし
製陵久保氏文庫（朱文）
9行18字
朱・句点 図は朱墨二色を用いる
奥書・「明治三十年秋日謄写了、竹所迂叟侗」
文政癸未刊本（華園精舎刊）を書写。
4-87 カ1貴 161877

140

古音律呂三類 稲川玄度著 竹所迂叟侗筆 明治38年

1帙 上下2冊 27. 7×19. 7

外内題異同なし

製陵久保氏文庫（朱文）

本文・8行4段4字、韻図・3段

朱・傍点、墨・句点

奥書・「明治三十八年一月廿九日謄写了。七十六叟侗耄、凹（白文印）」

4-87 コ1貴 161880

141

古声譜 著者不詳 竹所迂叟侗筆 明治30年

1冊 26. 4×18. 5

外内題異同なし

製陵久保氏文庫（朱文）

9行18字 無辺無界

朱・句読点（一部）

奥書・「明治三十年季秋謄写了、竹所迂叟侗」

4-87 コ2貴 161879

142

四声大秘事 著者不詳 清原経賢（栄相）筆 筆

写年不詳

1冊 21. 8×14. 7

外・四声大秘事、内・なし

清原（朱文）、栄相（朱文） 船橋蔵書（朱文）

、天師明経儒（朱文）

和文10行 無辺無界

朱・句点、傍線

奥書等なし

日本語方言への言及あり。藍色表紙。 卷頭に

「大極無極之説」。表紙に「性理字義和注」

「気化形化差別論」「五行論並相剋相生論」

「堯以二女妻舜論」「四書見様並心得」。

清家文庫 4-87 シ1貴 913278

143

考声微 著者不詳 筆写者不詳 筆写年不詳

1帙3冊10巻（甲～癸） 28. 5×19.

2

外・なし、内・考声微

蔵書印なし

7行24字 注双行 無辺無界

墨・句点

奥書等なし

篆書が親字、東から始まる字書（部首立）。布表紙葵紋入り。（「説文篆韻譜」に似る。）

4-87 コ3貴 410787

[史部 正史類]

史記索隱 (唐) 司馬貞著 筆写者不詳 筆写年不詳 144
1 帙 2 冊 26.5 × 18.5
外・なし、内・史記索隱
蔵書印なし
14行27字 注双行 無辺無界
朱墨書き入れなし
奥書等なし
巻1から巻30まで
谷村文庫 5-42 シ4 91004610
~11

史記抄 僧瑞仙(桃源)著 清原宣賢筆(本紀1
~4、列伝7~10、31~44、呉太伯世家)
、業賢筆(その他) 題簽は宣賢筆 筆写年不詳 145
2 帙 20 冊 27.2 × 21.2
外・なし、内・史記
船橋蔵書(朱文)、清原秀賢(朱文)
和文17行 無辺無界
朱・句点、傍線
第20冊巻末(列伝抄七十、最終巻太史公自序
のあと)に「余旧所聞止乎相如伝之半矣、今也
季王蔵主就余講此書、且又請補所抄缺者、郷
者纔記所聴焉耳、今之抄者、倍有于昔焉、豈無
小司馬譏褚少孫之言哉、余亦不敢辞之、盖貽
于後世、所不愧者、余之言、乃自疆北禪玉渚
三大老及一条台閣清家環翠翁之言也、知我罪我、
其唯春秋乎、季王復并書余之所講之与所抄、可
謂勤矣、吾史記之意、其在季王乎、文明丁酉
夏五月初九日、是亦村僧于翠微深処之軒、時梅雨
連朝、前溪怒号、推窓揖暮嵐抄畢矣」
重要文化財。上帙・本紀抄7冊、史記事實、史
記源流各1冊。下帙・列伝抄10冊、呉太伯世
家抄1冊。
清家文庫 5-42 シ1貴 944925

漢書抄 列伝第1~2は景徐(周麟)注、列伝第
1~30と41~43は桃源(瑞仙)注、列伝
第8~16は綿谷講。高帝紀~平帝紀、列伝
1~30、41~43は清原宣賢筆、列伝1~
2は景徐(周麟)筆、列伝8~16は綿谷筆。
筆写年不詳 146
6 冊 27.2 × 21.2

外・漢書抄、漢書列伝、漢書列伝抄、内・なし
船橋蔵書(朱文)
和文17行
朱・句点、傍線
列伝第1冊(第30巻)末に「以桃源自筆本仮
手於他写之了。侍従三位清原宣賢」、列伝第
15の荆燕呉伝題下に「文明十四年壬寅二月十
日桃源講、宜竹軒景徐聞書也」。前遊び紙に
「綿谷講、宜竹軒景徐聞書也。彼本自一至十
五アレトモ予今自八至十五写之前分略之」。
列伝抄の奥に「宜竹軒景徐抄也以彼自筆命外史
業賢写之了。侍従三位清原宣賢」とあり。
重要文化財。舟橋家旧蔵本。題簽奥書は宣賢筆。
宣賢自筆本を転写す。第1冊・高帝、惠帝、呂
后紀、第2冊・文帝、景帝、武帝、昭帝紀、第
3冊・宣帝、元帝、成帝、哀帝、平帝紀(以上
宣賢筆)、第4冊・列伝一之二(宜竹軒)、第
5冊・列伝一之三十、41-43(桃源梅岑抄)
、第6冊・列伝八之十五。
清家文庫 5-43 カ1貴 944926

遷史戾柁 皆川淇園著 自筆稿本 筆写年不詳 147
1 冊 24.5 × 16.5
外・遷史戾柁、内・なし
蔵書印なし
8行27字 注双行 無辺無界
朱墨書き入れなし
奥書等なし
内容は「列伝、本紀、世家、書、表」、列伝は
伯夷伝以降。第一葉題下に「愿著」とあり。
5-42 セ2貴 866593

白雪楼史記読本 山路機谷濟集評 山路機谷筆 148
筆写年不詳
3 帙 26 冊 27 × 19.4
外内題異同なし
蔵書印なし
12行17字 本文四周单辺無界二段
上段に眉批あり。批点有り。
奥書等なし
山路機谷自筆稿本。山路機谷濟集評。山路球太
郎寄贈本。五帝本紀より太史公自序まで。
5-42 ハ2貴 430596

白雪楼史記考文 山路伯美濟纂集 筆写者不詳 149
筆写年不詳

1 帙 元享利貞4冊 8巻 仮綴 23. 7×
17
外内題異同なし
蔵書印なし
9行20字 注双行 四周单边有界
朱墨書き入れなし
奥書等なし
山路球太郎寄贈。序に「王政復古戊辰秋八月白
雪楼主人識」とあり。
5-42 ハ1貴 430597

[雑史類]

貞観政要 (唐) 呉兢著 筆写者不詳 筆写年不
詳 150
1 帙3冊 (第1冊巻1・2、第4冊巻7・8欠)
28. 3×20
外・なし、内・貞観政要
藤波家蔵書 (朱文)
7行15字 無辺無界
朱・ヲコト点 墨・訓点、和訓
奥書等なし
2-42 シ2貴 171250

[詔令奏議類]

旨意要録 著者不詳 筆写年不詳 151
1 帙4冊 32×20. 5
外内題異同なし
樵李項氏家蔵 (朱文)
每半葉10行20字 四周双界 行单界
朱墨書き入れなし
奥書等なし
唐本。洪武24年-万暦8年の記事。第4冊後
尾に「共參伯九玖拾肆頁」
2-42 シ5貴 921836

[伝記類]

法顯伝 筆写者不詳 江戸末期 152
1冊 26. 7×18. 5
外内題異同なし
平田氏記 (朱文)
10行20字
朱・訓点 (一部)
奥書等なし

谷村文庫 1-21 ホ1 91000186
153
南宋六臣伝 百々綯著 自筆稿本 筆写年不詳
1 帙7冊 23. 8×17. 2
外内題異同なし
蔵書印なし
10行20字 無辺無界
朱・句点
奥書なし

「文政甲申九月重陽」の序及び「慶応丙寅臘月」
の刻序あり。内容は李隴西公綱伝、宗忠簡公澤
伝、趙忠簡公鼎伝、張忠献公浚伝、韓忠武王世
忠伝、岳忠武王飛伝。題簽に「稿本」とあり。
百々復太郎寄贈。
5-67 ナ1貴 48004

孝子伝 清原枝賢筆 筆写年不詳 154
1 帙2冊 23. 5×20. 2
外内題異同なし
船橋蔵書 (朱文)、東 (黒文)
8行16字 無辺無界
朱：句点、傍線 墨：訓点、和訓
奥書・「右孝子伝上下雖有魚魯焉馬之誤繁多、
先／全書写畢引勘本書令改易之可者乎。此書／
毎誦読涕泣如雨、嗚乎夫孝者仁之本哉。／天正
第八秦正二十又五孔徒従三位清原朝臣枝賢」
重要文化財。表紙題簽下に「青松」二字あり。
清家文庫 5-67 コ1貴 944941

[地理類]

進貢苗蛮図 (清) 陳枚画 筆写者不詳 筆写年
不詳 155
1 帙2冊 29. 5×17. 7
外・進貢苗蛮図、内・なし
民族研究所図書室 (朱文)
行20字
朱墨書き入れなし
奥書等なし
「陳枚画、清婁県人、字載東、又殿掄、号枝窩
頭陀。雍正時、官内務府郎中、画人物山水花鳥、
得宋人法」との貼り紙あり。木表紙。折本。毎
葉彩色画あり (右頁)、左に風俗解説。
谷村文庫 6-23 シ2貴 831008

156
唐土歴代州郡沿革地図 長久保赤水著 筆写者不
詳 寛政元年序
1帖 折本 34.5×21 着色
外・唐土歴代州郡沿革地図、序題・水戸長赤水
先生輿図古今沿革地図
蔵書印なし
行20字
四周双边有界
奥書等なし
寛政元年己酉春三月の立原万の後序。乾隆54
年榴月下浣古杭、沈琬綸序。彩色。
谷村文庫 5-41 ト2 91004577

[政書類]

157
清律例彙纂 沈湘南編 筆写者不詳 筆写年不詳
3帙24巻23冊(第5冊欠) 31×22
外内題異同なし
白川県、清浦圭吾(白文)、「刊局之印」(朱
文)
有界三段
朱・句読点、訓点、和訓
奥書等なし
抄乾隆五十八年刊本。清浦奎吾寄贈本。
2-04 シ1貴 28025

158
夷匪犯境録 著者不詳 筆写者不詳 筆写年不詳
1帙3冊 23.7×16.5
外内題異同なし
蔵書印なし
10行20字 四周双边有界
朱・句点、傍線
奥書等なし
版心に「夷匪犯境録」「先天堂蔵」とあり。
谷村文庫 5-45 イ1 91004959
~61

[目録類]

159
明史芸文志 筆写者不詳 筆写年不詳
1帙8冊 25×20
外・明史芸文志抄本、内・明史芸文志
蔵書印なし
14行24字 注双行 無界
朱・傍線(人名)

奥書等なし
表紙題簽に「清人手写校訂、史、子、集部。」
とあり。唐本。
4-49 ミ1貴 19151

160
撰定蕭蘭竝擷 著者不詳 筆写者不詳 筆写年不
詳
1帙4冊 巻1~4 24×16.7
外・撰定蕭蘭竝擷、内・なし
蔵書印なし
和文10行 無界
朱・傍線、点 藍点あり
奥書等なし
漢籍解題書目。
谷村文庫 4-49 セ1貴 233401

161
孔叢子 (宋) 宋咸註 筆写者不詳 筆写年不詳
1帙2冊 7巻 26. 7×20
外内題異同なし
清原秀賢 (朱文)
11行21字 注双行 巻1・单边有界、その他・無辺無界
朱・傍線
奥書・「右本龜山妙智院借出而／課朝鮮人令騰写者也。／慶戊夏五念九 清原秀賢」
帙題簽に「秀賢筆」とあり。
清家文庫 1-69 コ2貴 926368

162
帝範 (合部) 唐太宗著 清原秀賢筆 慶長4年
1冊 28×21
外内題異同なし
天師明経儒 (朱文)、船橋蔵書 (朱文)
8行14字 注双行 单边有界 上下二段、下段に本文と注、上段は頭注 (補注)
朱・句点 (一部) 墨・訓点、和訓
奥書・「右一冊者荀人君之儀則也、如畫出一箇賢君矣／於于爰或人為雖需講説の本之無相持仍旁求／数本考、正之、尚有不詳、其餘者臆思之所及推而以改易求の本可訂正者也／慶長四曆屠雉大淵献旦月中旬、吏部郎中清原秀賢」 朱文
「右以数本雖校考之都而無真本注所引之書多以尋求／攸得者十八九其次加首書畢」
清家文庫 1-84 テ1貴 926365

163
帝範 唐太宗著 清原尚賢筆 正徳5年
1冊 30. 2×21. 8
外内題異同なし
蔵書印なし
8行14字 無辺無界 上下二段、下段に本文と注、上段に補注
朱・句点 (一部) 墨・訓点、和訓
奥書・163と同文。加点の位置まで同じ。その後さらに以下の文あり。「右一冊者以高祖養真院殿御自筆之本／令書写並加朱墨之点令校合畢。正徳五年十一月上旬、吏部郎中清原尚賢」
清家文庫 1-84 テ2貴 926366

164
困知記 (明) 羅欽順著 筆写者不詳 筆写年不詳
1帙2冊 26. 5×20. 4
外内題異同なし
天師明経儒 (朱文)、船橋蔵書 (朱文)、清原 (朱文)、秀相 (朱文)
11行20字 無辺無界
朱・句点、傍線
奥書等なし
秀相所持本。
清家文庫 1-69 コ3貴 926390

165
荀子觴 岡白駒著 筆写者不詳 宝暦6年春3月
1冊 上下2巻 27. 2×18. 4
外内題異同なし
我家秘笈不防偷読 (朱文)
每半葉9行20字 注双行 四周双界 行单界
朱・傍点 (ま) 墨・句読点 まま頭注あり
奥書等なし
版心「岡氏蔵書」とあり。河野天瑞寄贈。巻尾に「寶暦丙子春三月下旬」とあり。
1-68 シ3貴 19813

166
太極図述 上下 室直清 (鳩巢) 著 筆写者不詳 江戸末期
1帙2冊 25. 7×19. 0
外内題異同なし
蔵書印なし
9行19字 無辺無界
朱・句点 (上冊のみ) 墨・訓、和訓
奥書等なし
鳩巢先生諸経解巻のうちの「太極図述」。序「享保癸丑重陽日英賀室直清識」
谷村文庫 1-69 タ1 91001404
~05

167
九丘八索 皆川淇園著 自筆稿本 筆写年不詳
1冊 23. 5×16. 4
外・なし、内・九丘八索
蔵書印なし
10行 四周双辺有界
朱墨書き入れなし
奥書等なし
8-81 キ1貴 866581

168

名嘯 皆川淇園著 自筆稿本 天明2年
 1帙 乾坤2冊 乾冊は27. 5×18. 1、
 坤冊は26. 7×18. 7
 外内題異同なし
 蔵書印なし
 9行20字 四周有界
 朱点あり
 奥書等なし
 坤冊表紙に「壬寅季秋二十八日完業／有斐斎草
 本」とあり。
 1-69 ×1貴 866571

[道家類]

169

老子経抄 清原宣賢著か 筆写者不詳 近世中期
 1冊 27. 2×20. 7
 外・老子経鈔（完） 内・老子経抄
 船橋蔵書（朱文）、清原（朱文）、秀相（朱文）
 和文13行 無辺無界
 朱・句点、傍線
 奥書等なし
 清家文庫 1-67 □1貴 926389

170

莊子廬斎口義 （宋）林希逸（廬斎）著 稻常
 （細川典厩被官元健仁寺僧）、国賢、青松等筆
 室町末近世初
 2帙10冊10巻 26. 5×20. 5
 外・莊子 内・莊子廬斎口義
 舟橋蔵書（朱文）、国賢（朱文）
 9行17字 無辺無界（但し第6、7、9冊の
 み界線（四周単辺）あり）
 朱・句点 墨・訓点、和訓
 奥書・巻1「大府卿清原国賢」「細川典厩被官
 元健仁寺僧／稻常」 巻2「天正十年青松書之」
 巻3「天正十年仲冬初二朱墨点了」「稻常書之」
 巻5「青松書之」 巻6「清水寺假平等坊宗誠
 手謄写之」 巻7「吉田神恩院周超筆之」 巻
 8「三雲三郎左衛門入道元右筆」 巻9「家君
 芳翰」 巻10「盛 □□下元石見今謙斎筆」
 （すべて裏見返しに）
 表紙「莊子」題下に「青松」の二字有り。第1
 冊、第3冊は稻常筆。
 清家文庫 1-68 ソ1貴 913253

171

莊子無已 源寵著 筆写者不詳 筆写年不詳
 1冊 25. 9×19. 5
 外内題異同なし
 蔵書印なし
 10行20字 注双行 無辺無界
 朱・訓点、句読点
 奥書等なし
 内篇のみ。
 1-67 ソ2貴 866596

[兵家類]

172

孫子 孫武著 清原業賢筆 永禄3年
 1冊 上下3巻 28. 2×21. 4
 外・孫子、内・魏武帝註孫子
 東（黒文）、舟橋蔵書（朱文）
 8行16字 注双行 単辺有界
 朱・ヨクト点、句点、和訓、傍線 墨・和訓、
 訓点
 奥書・「永禄三年十月五日、以唐本書写之、加
 朱墨点了、（有判）／同四年四月七日以首書之
 本校了／」
 清家文庫 8-21 ソ1貴 926357

173

呉子 呉起著 清原枝賢筆か 元亀3年7月
 上下巻 1冊 27. 5×20. 9
 外・なし、内・呉子
 船橋蔵書（朱文）
 9行16字 単辺有界
 朱・句点、傍線 墨・訓点、和訓
 奥書・「元亀三年七月十日、以或本加朱□点」
 巻頭に史記呉越列伝を冠す。
 清家文庫 8-21 □1貴 926356

174

司馬法 著者不詳 筆写者不詳 筆写年不詳
 1冊 27. 6×20. 9
 外内題異同なし
 船橋蔵書（朱文）
 9行16字 単辺有界
 朱・句読点、傍線 墨・句点、和訓
 奥書等なし
 表紙題下に「完」とあり。また「青松」二字あ
 り。
 清家文庫 8-21 シ1貴 926416

175
司馬法 司馬攘苴著 清原宣賢筆 筆写年不詳
1冊 26.8×20.9
外内題異同なし
岑寮(白文)、船橋蔵書(朱文)
10行17字 無辺無界
朱・句点 墨・訓点、和訓
奥書・「以唐本写之了、重校正直解了」
重要文化財。船橋家旧蔵本。外題題簽清原国賢筆。表紙題下に「青松」二字あり。扉に「日野蒲生所領」。
清家文庫 8-21 シ2貴 944936

176
尉繚子 尉繚子著 清原枝賢筆か 筆写年不詳
1冊5巻 27.7×21.0
外・尉繚子 完
船橋蔵書(朱文)
每半葉9行16字 四周单边有界
朱・句読点、傍線 墨・訓点、和訓
奥書等なし
題簽下に「青松」の二字あり(清原国賢筆)
175と同筆
清家文庫 8-21 ウ1貴 926358

177
三略 著者不詳 筆写者不詳 元龜2年辛未
1冊 上中下3巻 仮綴 24.2×19.2
外・三略、内・黄石公三略
蔵書印なし
8行17字 四周单边有界
朱・読点(一部) 墨・訓点、和訓
奥書・「維時元龜二歳辛未初度吉辰」
表紙に「三略 全」と朱書。
3-21 サ1貴 943244

178
六韜 清原宣賢註 清原業賢筆 筆写年不詳
1冊 巻第1-6 27.0×20.8
外内題異同なし
蔵書印なし
8行14字 四周单边有界
朱・句読点 墨・訓点、和訓 頭注有り
奥書・「此書兵家之龜鏡鴻賓儒道之」
外題題簽・序欄外頭注宣賢筆、本文業賢筆。重要文化財。
清家文庫 8-21 リ1貴 944928

179
六韜秘抄 清原宣賢撰 清原宣賢筆 筆写年不詳
1帙乾坤2冊 乾巻は墨付111丁、坤巻は墨付69丁 27.5×21.3
船橋蔵書(朱文)
8行 注双行 四周单边有界
朱・点注、(本文に)ヲコト点 墨・和訓、訓点
内題下に「環翠軒宗尤私抄之」とあり。乾巻末に「清侍従三位清原宣賢 私抄之／号環翠軒宗尤(花押)」とあり。
重要文化財。題簽下に「不出」とあり。
清家文庫 8-21 リ2貴 964401

180
三略抄 清原国賢著 第1冊[礼]のみ著者自筆 筆写年不詳
1帙礼楽射御数書6冊 冊子本 27.2×20.8
外内題異同なし
国賢(朱文、表紙題下)
和文16行 無辺無界
朱・句点、傍線
上略は「礼」「楽」「射」「御」、中略は「数」、下略は「書」。礼冊・「天正十三年八月九日遂写之功畢」(上略の巻末) 楽冊・「天正第十三仲秋廿八朱点畢、課稻常写之」 射冊・「假神恩院周超手謄写之」 御冊・「天正十三閏八、廿八於灯下遂朱点之功、筆者稻常、細川典厩披官」 数冊・「假観智院空盛手写之」(下略の裏表紙裏) 書冊・「天正四年丙子晚春中(下を見せ消ちにして中に改む)旬(青松)」(裏表紙裏)
重要文化財。毎冊題下有「青松」二字。第1冊「礼」、第2冊「楽」(以上 上略) 第3冊「書」、第4冊「御」(以上 中略) 第5冊「射」、第六冊「数」(以上 下略)
清家文庫 8-21 サ1貴 944942

181
三略抄 清原宣賢講述 筆写者不詳 江戸初期
1冊 26.2×19.7
外・三略口義 内・黄石公三略 題簽・三略口義 扉・三略抄
虚受庫(朱文)、横地氏珍藏記(朱文、巻頭及び巻尾)、靄隈文庫(朱文、巻頭)
和文14行23字
朱・句点、傍線 墨(本文に)・訓点、和訓
奥書・「本右抄侍清三位宣賢入道宗尤講席書之

并以講義／直解令清書訖、宗二／右書以一賢次
令書写之訖、外史康雄（花押）」
谷村文庫 8-21 サ1貴 763389

182

三略秘抄 清原宣賢筆 筆写年不詳

1冊 27. 4×21. 2

内・三略

船橋蔵書（朱文）

和文8行 注双行 四周单边

朱・ヲコト点

奥書・「天文三年四月廿六日廿七日廿九日三个
度講之、以抄之了／環翠軒宗尤（花押）／天文
五年三月十一日十二日十四日三个度講之／天文
九 六十一日十三日十六日三个度講之」
重要文化財。巻首に史記留侯世家が2葉にわたり
付される。

清家文庫 8-21 サ2貴 944929

183

施氏三略講義 （巻第31-33） 清原宣賢筆
（一部） 筆写年不詳

1冊3巻 墨付53丁 26. 5×20. 6

外・三略講義 内・施氏三畧講義

船橋蔵書（朱文）、国賢（朱文）

8行本文20字 注双行 宣賢筆の11葉のみ
界線あり

朱・句点、レ点のみ、傍線 墨・和訓、訓点

まま頭注あり

奥書等なし

重要文化財。巻頭に素書陳石序。困学紀聞12、
史記留公世家・大明名臣録を引く。巻末に江伯
虎の七書伝を付す。

清家文庫 8-21 サ3貴 944931

〔医家類〕

184

黄帝内経太素 （唐）揚上善著 筆写者不詳 筆
写年不詳

3帙25冊30巻（内巻1、4、7、18、2
0、21、22を欠く。巻次を記さぬもの2冊）
29×20. 7

外・太素影鈔本、内・黄帝内経太素

蔵書印なし

7行14字 注双行 四周单边有界

朱・ヲコト点

奥書等なし

巻次を記さぬ2冊は残零本、内容は刺法、骨空

論。第二十七巻のみ刻本。百々復太郎寄贈。平
安末写本を転写せしもの。

7-02 コ4貴 48176

185

黄帝内経太素 （唐）揚上善著 百々綯校 筆写
者不詳 安政2年、同3年

3帙24冊30巻（内欠有り。残零本2冊）

27×19. 2

外・黄帝内経太素、扉・太素、巻頭・黄帝内経
太素

蔵書印なし

8行14字 注双行 無辺無界

朱点あり

奥書・第3巻（第2冊）「安政乙卯十一月六七
兩日照錦小路家蔵本一校 百々綯」第22冊

「安政丙辰二月二日照錦小路家蔵本一校 百々
綯」（他にもあり）

抛った底本は「7-02 コ4」と同じ。手は
異なる。巻27のみ刊本。百々復太郎寄贈。

7-02 コ5貴 48177

186

古本傷寒論 百々綯写並跋

1冊 27. 5×19. 5

外・古本傷寒論、内・傷寒論

蔵書印なし

10行20字 無辺無界

朱点あり

奥書等なし

扉・「先考手寫并跋文」。跋・「嘉永庚戌嘉平
二十三夜左京草醫百綯呵凍題」。百々復太郎寄
贈本。

7-02 シ8貴 48164

187

救荒本草野譜 （明）王磐・姚可成著 筆写者不
詳

1冊 27. 1×18. 0

外・救荒本草野譜 内・（救荒）野菜譜

蔵書印なし

無辺無界 図入

墨・訓点、和訓

奥書等なし

王磐救荒野譜と姚可成同補遺を合刻したものを
転写。

谷村文庫 6-21 キ1 91006079

188

黄帝内经明堂（巻1） 著者不詳 不明 近世後期

1冊 27. 2×18. 8

外内題異同なし

蔵書印なし

6行15字 注双行 無辺無界

朱・読点

奥書・「永仁四年正月十二日書写畢／同廿三日移點畢／同年二月二日移朱点畢／同六日校合畢／三位丹波朝臣長高（花押）」、「文永七年八月二日書写畢／同十日移点畢／同十六日移朱点畢／同廿日一校畢／散位丹波朝臣篤基判／本云、寛元元年六月二十二日以相伝本書写畢 光基也主税頭兼権侍医丹波朝臣判／受庭訓了／篤基判／永仁第六年仲夏十九日以○／読之秘説授嫡男長高／員外医僧丹波朝臣（花押）／受嚴説了／権侍医長高／（花押）」

「楊上善序 手太陰経」と表紙題下にあり。

7-02 コ7貴 48178

189

金匱存疑 著者不詳 百々絢筆 安政3年

1帙5冊 24×16. 5

外・金匱存疑、内・金匱要略方論

蔵書印なし

12行20字 四周単辺無界

朱・読点

「金匱要録」（張仲景著）への存疑。「安政丙辰十一月初五夜燈下記、百々絢」とあり。版心に「零枢存疑」と刻される用箋に抄す。百々復太郎寄贈。

7-02 キ1貴 48139

190

傷寒論存疑 百々絢著 自筆稿本 安政3年3月

1帙4冊 24×16. 8

外・傷寒存疑 内・傷寒論存疑

蔵書印なし

12行21字 四周単辺無界

朱点あり

奥書・「安政丙辰三月念日夜初更百々絢手録畢聊記喜」

百々絢自筆稿本。百々復太郎寄贈。巻頭題下に「平安百絢学」とあり。

7-02 シ6貴 48215

191

素問存疑 百々絢著 自筆稿本 筆写年不詳

2帙8冊 23. 5×18. 8

外内題異同なし

蔵書印なし

8行18字 注双行 四周単辺無界

朱点あり

第1冊巻末に「右一冊全六十八牒。安政丁巳正月十九日始業三月十一日録完。」第2冊巻末「右一冊全五十六牒丁巳三月十二日起四月九日録完。」第8冊「右径气厥論以下至解精微都合四冊閏五月廿日至十月念四夕草完。」など、第1～4、8冊巻末に奥書あり。

百々絢自筆稿本。題下に「著者稿本」。表紙見返しに「先著素問存疑計八巻」とあり。百々復太郎寄贈。

7-02 ソ1貴 48262

192

八十一難存疑（黄帝八十一難経） 百々絢著 自筆稿本 筆写年不詳

1冊 23. 9×16. 9

内・難経本義（巻頭）、難経本義存疑（巻尾）

蔵書印なし

12行21字 四周単辺無界

朱点あり

奥書等なし

百々絢自筆稿本。百々復太郎寄贈。

7-02 ハ1 48308

193

靈枢存疑 百々絢著 自筆稿本 安政4年11月から5年4月完結。

2帙12冊 23. 7×17

外内題異同なし

蔵書印なし

8行18字 注双行 四周単辺無界

朱・句点

奥書・「右靈枢密八十一篇存疑輯録、起業于安政丁巳十一月朔戊午四月二日完結 百々絢識」

百々絢稿本。表紙見返しに「靈枢存疑計十二巻」とあり。百々復太郎寄贈。

7-02 レ1貴 48368

194

医方広覧 百々南岳著 筆写者不詳 筆写年不詳

2帙8冊 23×16. 5

目録題 医方要覧

蔵書印なし

9行20字 四周单边有界
往々朱の書込み有り 墨・訓点・和訓
奥書等なし
百々復太郎寄贈。「南岳先生著書」との付箋あり。
7-02 15貴 47690

195
校定瘟疫論並翼訣（第一稿）（明）呉有性著
百々俊徳校定 百々絢筆録 筆写年不詳
1帙上中下3冊3巻 27c×18.2
扉に瘟疫翼訣（上）、校定瘟疫論合翼訣（中・下）

蔵書印なし
10行15字 四周双边有界
朱・句点、圈点 眉欄朱墨書込みあり
奥書等なし
一部和文混じり。百々復太郎寄贈。
7-02 33貴 47690

196
校定瘟疫論（第二稿）（明）呉有性著 百々俊
徳校定 百々絢筆録 筆写年不詳
1帙2冊2巻 25.9×18.1
外内題異同なし
蔵書印なし
9行21字 注双行 四周有边有界
朱・句点、圈点 眉欄朱墨書込み有り
奥書等なし
稿本。
7-02 22貴 48172

197
校定瘟疫論（第三稿）（明）呉有性著 百々俊
徳校定 百々絢筆録 筆写年不詳
1帙2冊 乾坤2巻 27×19
外内題異同なし
蔵書印なし
9行21字 注双行 四周有边有界
朱・傍圈点 墨・句点
奥書等なし
百々復太郎寄贈。
7-02 31貴 48171

198
校正補注瘟疫論（第二稿） 百々絢著 筆写者不詳
弘化乙巳1月
1帙 元亨利貞4冊 27.5×19
外内題異同なし

蔵書印なし
10行20字 四周双边有界
朱・読点
奥書等なし
百々絢稿本。第1冊扉に「弘化乙巳正月稿」。第1冊卷末に「乙巳仲春二日校畢。同初夏十四夕校畢」。第3冊「二月念九校」。本文巻頭に「瘟疫論校定本」と題し、のち朱墨にて「校定本」3字を見せ消ちにして「校定瘟疫論」とすべき由記す。
7-02 36貴 48174

199
四種彙粹類纂 百々絢著 筆写者不詳 筆写年不詳
9帙49冊 27×18.2
外内題異同なし
蔵書印なし
10行27~29字 四周双边有界
ままた朱句点あり
奥書等なし
百々絢手稿本。百々復太郎寄贈。
7-02 32貴 48195

200
導引纂要 著者不詳 清原秀賢筆 筆写年不詳
1冊 21.3×15.8
船橋（白文）
12行21字 無边無界
朱・句点（一部）
奥書等なし
清家文庫 7-02 11貴 926369

201
楞伽集 著者不詳 筆写者不詳 文和元年11月
4帙20冊 26×18.7
外内題異同なし
丹波家蔵（朱文）
10行20字 四周单边有界
朱・訓点 墨・訓点
奥書・「文和元癸巳年十一月穀旦、典薬頭丹波尚康（花押）／権侍醫丹波知長（花押）／一校了」
百々復太郎寄贈。
7-02 1貴 48287

202
医書目録稿本 百々絢著 仙鶴堂輯 百々絢自筆
筆写年不詳

1 帙4 冊 23×16.2

外・歴代医書目録（一）、諸医書目（二）、雑科医書目（三）、扉・医蔵書目抄（四）

梧竹棲図書（白文）

11行 四周双边有界

書き込み多し

奥書等なし

第4冊扉に「辛卯冬十月手寫」とあり。百々復太郎寄贈。「医書 目録稿本」の題箋をのちに貼付す。

7-02 12貴 48063

203

医粹約範書目稿本 百々絢著 自筆稿本 文政

10年

1冊 27.4×18.2

扉・医粹約範稿本序并目録

蔵書印なし

10行 四周单边有界

朱墨書き入れなし

奥書等なし

扉に「文政丁亥秋八月藁。梧竹居科課」

7-02 13貴 48068

204

医類函類聚書目 百々絢著 著者自筆 文化14

年

1冊 23×16.2

外・医類函類聚書目、目録題・医類函

蔵書印なし

11行 三方单边有界

朱墨書き入れなし

奥書等なし

表紙に「文化丁丑四月起業、梧竹栖蔵」とあり。

百々復太郎寄贈。

7-02 14貴 48091

[天文算法類]

205

長慶宣明曆（唐）徐昂著 清原国賢筆か（巻首

1行清原秀賢加筆） 筆写年不詳

1帙4冊 27.4×21.5

外・宣明曆、第4冊のみ宣明曆交蝕記、内・宣明曆立成（第1冊）、長慶宣明曆立成（第2・3冊）、宣明曆交蝕私記（第4冊）

船橋蔵書（朱文）

10行20～22字、注双行、四周单边有界

墨訓点、和訓、まま朱点あり。

第2冊裏見返しに「給仕中」、第3冊裏見返しに「拾遺清原」とあり。

表紙題簽下に「青松」2字あり。眉欄書込みあり。

清家文庫 6-04 チ1貴 913257

206

句股弦度図説（明）李之藻演、鄭懷魁訂 新井

白石筆 江戸中期

1冊 27.2×18.0

外・測天墨録

天爵堂図書記（朱文、巻頭）、君美（巻尾）

每半葉9行18字 無辺無界

朱墨書き入れなし

奥書等なし

内容：句股弦度図説および句股測望図説。表紙裏に識語「鈔本句股弦度図説、巻頭有天爵堂図書記之印、以筆致考之、雖無白石所用篆文躬自抄録之印記、其為親写之書無疑也、白石尊実用之学以余力及此等疇人之書、其精力可想、殊此書運筆謹嚴一字無苟、彼此相待如紙上真觀其人矣、昭和己巳重三、亨識（狩野）」

谷村文庫 6-41 コ1貴 2502334

[芸術書画類]

207

書史会要 陶九成（陶宗儀）著 筆写者不詳 筆

写年不詳

1帙宇宙2冊9巻 補1 23.9×17.0

外内題異同なし

舟橋蔵書（朱文）

11行20字 四周单边有界

朱・句点、傍線

奥書・「慶長四年仲冬 課朝鮮人令書写了／吏部清原秀賢」（字巻）

清家文庫 8-43 シ3貴 926367

208

書法 著者不詳 清原経賢筆 筆写年不詳

1冊 26.6×21.3

外・書法、内・なし

天師明経儒（朱文）、舟橋蔵書（朱文）、清原（朱文）、経賢（朱文）

10行20字 無辺無界

朱・句点、傍線 墨・訓点、和訓

奥書等なし

清家文庫 8-43 シ2貴 913282

209
法帖釈文(1) 法帖刊誤(2) 閣帖辨偽(3)
(2)は黄詒著、他は著者不詳 筆写者不詳
筆写年不詳
1帙3冊 (1)27.5×17.5、(2)
27.5×17.5、(3)18.1×11.5

(1)序題・歴代法帖釈文

東所賞玩(白文)

(1)9行20字 無辺無界、(2)10行20字 無辺無界、(3)8行

朱墨書き入れなし

奥書等なし

拓本集。服部晋次寄贈。(3)「昭和乙丙十二月十九日、謄写、東」とあり。帙背題簽に「淳化閣帖・法帖釈文・法帖刊誤」とあり。

8-43 シ3貴 163518

210
文房佳話 愛香生纂輯 金原安修自筆稿本 筆写年不詳

1冊 19.3×14

外・文房佳話、内・なし

蔵書印なし

9行20字 四周単辺有界

朱・読点

奥書等なし

金原安修自筆稿本。版心に「六止齋」と刻印さる。金原清左衛門寄贈。

8-42 フ1貴 84549

211
入木管見抄 持明院基春著 清原秀賢筆 文禄4年

1冊 16丁 26.3×20.2

外・書学秘鈔、内・なし

墨・船橋(白文)

和文12行

朱墨書き入れなし

奥書・「右一卷者依秀賢懇望令相／伝之間加奥書畢／文禄四年五月五日中納言基孝」

清家文庫 8-43 シ1貴 913264

[雑家類]

212
熙朝楽事 (明)田汝成著 清原師賢筆 文化2年3月
1冊 27.5×20.2

外内題異同なし

蔵書印なし

10行26字 無辺無界

朱・句点

奥書・「文化二年三月某日、少納言兼侍従明経博士主水正清原師賢」

清家文庫 10-06 キ1貴 913268

213
筠廊偶筆 (清)宋肇著 朝川善庵筆 江戸末期
1冊 23.1×16.6

外内題異同なし

善庵暴書(朱文)、其中堂(朱文)

11行25字 無辺無界

朱・句点(一部) 墨・訓点、和訓(一部)

(巻頭数葉のみ)

奥書等なし

谷村文庫 10-06 イ1貴 2502319

214
玉芝堂談薈 巻1~18、22~36 第6冊

(19~21)欠 (明)徐応秋撰 筆写者不詳 江戸中期

3帙9冊 23.3×17.2

外内題異同なし

兼葭堂、何必読書斎図書之記、梅堂蔵書

9行19字 四周双辺有界

奥書等なし

表紙に「兼葭堂秘不許出閫外」と書き込み。

谷村文庫 10-06 キ1 91007369~91007377

[類書類]

215
永楽大典 巻910~912 乾隆38年写

1冊 50.2×29.6

外内題異同なし

蔵書印なし

8行28字 四周双辺(朱線)有界

朱墨書き入れなし

奥書等なし

重録本。四庫全書編纂用。

10-04 エ1貴 別 130448

216
永楽大典 巻7889~7890 近年の抄写
1冊 50.2×30.1

蔵書印なし

8行28字 四周双辺（朱線）有界

朱墨書き入れなし

奥書等なし

近年の再写。次の書き込みあり「これは近年の写しなり、原本にあらず、混同する勿れ、昭十六年七月、新村出」

谷村文庫 10-04 エ2貴 763810

217

永楽大典 巻12929, 12930 嘉靖41年~隆慶1年

1冊 50. 2×30. 2

原本・8行28字 四周双辺（朱線）有界、本文・双行小黒字

朱墨書き入れなし

奥書等なし

零本一卷12929~30、宋高宗171, 172。

谷村文庫 10-04 エ1貴 763809

218

古注蒙求（唐）李瀚撰注 九梅叟拙筆 筆写年不詳

1帙3冊3巻 26×19

外・蒙求、内・附音増広古註蒙求

蔵書印なし

9行19字 注1字下げ 四周単辺無界

朱・傍線（固有名詞） 墨・訓点、和訓

上巻「愛甲中務少輔長廉吉甕正第八 金龍 上章撰提格 夏之孟月之仲上瀚／九梅叟拙書之」中巻「吉甕正第八 曆上章撰提格 夏之孟月之落上瀚日 巢松軒九梅叟書之」下巻；「吉天正第八曆 金龍 撰提格 黄梅泉中之莫、九梅叟拙一筆書之」

のちに付した題簽に「古註蒙求」とあり。

5-67 コ1貴 48000

219

標題蒙求 李瀚著 清原国賢筆か 筆写年不詳

1冊 26. 8×20. 5

外内題異同なし

船橋蔵書（朱文）

上下二段 10行、段10字

朱・傍線 墨・和訓

奥書・「天正十三季冬晦」

題簽下・巻末にそれぞれ「青松」の二字あり。

虫損甚し。

清家文庫 5-67 ヒ1貴 926353

220

標題徐状元補注蒙求（上中下） 徐状元著 清原宣賢筆（上・中の「魏勃帰門」以降・下） 筆写年不詳

2帙3冊3巻 和24. 8×20. 7

外・なし、内・標題徐状元補注蒙求

舟橋蔵書（朱文）、菅原（朱文）

12行15字 無辺無界

朱・句点、傍線 墨・訓点、和訓

奥書等なし

宋版転写本 各巻末に「為」とあり。紺表紙。

清家文庫 5-67 ヒ2貴 926352

221

標題補注蒙求（唐）李瀚著 徐状元補注 清原宣賢註 本文は業賢、注は宣賢筆 筆写年不詳

1帙上中下3冊 28. 2×21. 8

外・蒙求 内・標題徐状元補注蒙求

船橋蔵書（朱文）

13行15字 四周単辺無界

朱・ヲコト点 墨・訓点、和訓

奥書・上巻宣賢の手で、「史記前後漢書已下以本書校正之、同文加首書訖／侍従三位清原宣賢／依三福寺長老裕翁發起毎日講之（此巻）自十月二日始至同十八日／終（但此内四ヶ日闕）／時大永四年 侍従三位清原宣賢／享祿二年於能州畠山左衛門佐義総亭講之（始六月廿七日終七月十八日十三ヶ度）」中巻「享祿二年七月於能州畠山左金吾義総亭／講之（始十九日終八月朔十一ヶ度）環翠軒宗尤／天文十一年於私宅講之／」下巻「享祿三年三月於能州畠山左金吾義総亭講、去／年下向之時下巻不及講之上洛依結約当年／亦北征終此巻／（始十六日終廿二日十二ヶ度）環翠軒宗尤／天文十四年四月十四日於越州一乗谷慶隆院講始之六月十四日／講終（三十七度全部相終）宗尤」

重要文化財

清家文庫 5-67 モ2貴 944927

222

蒙求聴塵 李瀚原著 清原宣賢講 筆写者不詳 近世後期

1帙坤屯2冊（中・下のみ） 28. 0×20. 5

外・蒙求抄 内・蒙求聴塵

船橋蔵書（朱文、巻頭）、船橋（白文、巻末）

和文12行 無辺無界

朱・句点、傍線

奥書等なし

内題下に「侍従三位清原宣賢私抄之」とあり。
清家文庫 5-67 モ1貴 913239

223

幼学指南抄 著者不詳 筆写者不詳 平安末から鎌倉

1帙2冊 粘葉装 24. 5×14

外内題異同なし

蔵書印なし

7行17字 押界線

朱墨書き入れなし

奥書等なし

成句を集めた啓蒙書。巻7人部1、2、巻第22中巧芸部下、方術、火部下が残っている。第22表紙に「卅一冊之内」とあり。紙質は斐紙（途中まで）。

4-85 ヨ1貴 1532528

224

庶物類纂 鱗属 稻生若水著 稻生若水筆か 筆写年不詳

1帙3冊15巻 23×17

外内題異同なし

蔵書印なし

9行20字 3周单边 無界

墨・訓点、和訓

奥書等なし

6-20 シ1貴 128052

225

稻生若水遺稿 稻生若水著 筆写年不詳

13帙67冊 23×17~27. 8×18. 5

蔵書印なし

9行20字

墨・訓点、和訓

奥書等なし

庶物類纂の草属（1~20）、毛属（21~25）、介属（26~28）、羽属（29~32）、果（33~38途中）、味（38途中）。39以降は雑書抄。

6-21 イ1貴 27399

226

稻生若水涉獵志類 著者不詳 筆写者不詳 元禄

10年、12年、14年

1冊 23. 4×16. 3

蔵書印なし

9行3段

朱墨書き入れなし

奥書等なし

雨森良意寄贈本

6-21 イ2貴 41919

227

庶物類纂 稻生若水著 筆写者不詳 筆写年不詳

3帙13冊 23. 2×16. 3

内・類纂、庶物類纂

蔵書印なし

9行20字 注双行 無辺無界

訓点あり

奥書等なし

花属80巻10冊、うち巻12、20、33-38、46、52-56、65、70、72、73が欠。花属闕本目次1冊、木属巻6（1冊）、庶物同名異実疏1冊。雨森良意寄贈。

6-21 シ4貴 41922

228

庶物類纂 稻生若水著 筆写者不詳 筆写年不詳

1冊 27×18. 9

外内題異同なし

蔵書印なし

9行20字 四周双边無界

朱・句点、傍線

奥書・「天保甲辰秋七月中原前一日校□听」、「天保甲辰仲秋四月校了、直寛」等を朱書。紙（版）心に「庶物類纂棧考書屋」と印刷。

谷村文庫 6-21 シ6 91006092

229

類説節要 著者不詳 清原秀相筆 筆写年不詳

1帙3冊 天地人3巻 26. 0×20. 7

外内題異同なし

（標題下）船橋蔵書（朱文）、清（朱文）、清原（朱文）、秀相（朱文）

11行22字 無辺無界

朱・句点、傍線

奥書等なし

藍付箋あり。中国古典からの故事成語集。虫損激し。

清家文庫 10-04 ル1貴 926391

230

摘英集 著者不詳 筆写者不詳 室町中期か

1冊 27×20. 7

外内題異同なし

蔵書印なし

和文14行 無辺無界

朱・句点、傍線、傍点

奥書等なし

抄物。和文による筆記の一種。中国故事等を諸書より抄写す。

谷村文庫 10-05 テ1貴 763377

231

金沢物対 稻生若水著か 筆写者不詳 筆写年不詳

1冊 23. 2×16. 3

外内題異同なし

蔵書印なし

9行20字（見出し語より数うれば21字）

朱墨書き入れなし

奥書等なし

巻首に「元禄六年夏五月在金澤所對」とあり。

雨森良意寄贈本。

6-21 カ1貴 41918

[小説家類]

232

開元天寶遺事 （五代）王仁裕著 清原師賢筆

文化3年

1冊 27. 4×19. 8

外・開天遺事、内・開元天寶遺事

蔵書印なし

10行26字 無辺無界

墨・訓点、和訓

奥書・「文化三年秋九月、從三位博士（花押）」

紹定刊本の転写本。

清家文庫 5-44 カ1貴 926376

233

白氏長慶集 (唐) 白居易著 筆写者不詳 鎌倉
1軸 卷子 箱入 31×48 匡郭内25.
5×2.8
外内題異同なし
行16字
墨・訓点、和訓、声点
奥書等なし
「牡丹芳」の前の途中「意但与之」から「井底
引銀瓶」の途中「君家舎五六年」まで。
谷村文庫 4-08 ハ1貴 763384

234

白居易文集卷四新樂府 (唐) 白居易著 筆写者
不詳 鎌倉
1軸 卷子 箱入 32.3×52.6 (紙)
匡郭内27.1×3.5
外内題ともに文集卷第四
蔵書印なし
行11字
朱・声点、音訓点、レ点 墨・和訓
奥書等なし
驪宮高より採詩官、雜言凡30首。表紙・藍色
和紙。軸に巻いた紙の上に、「正和二年自三月
十八日習始、晦之日習畢。西小路之伊□□記□
□源伊習畢、岩□丸／一二三／」とあり。箱書
は「白氏文集」。別置
4-08 ハ1貴 1423174

235

白氏文集卷第三、四 (唐) 白居易著 筆写者不
詳 平安末期～鎌倉か、第4巻は少し古い
2軸 卷子 箱入 29.5×(内界)26.
6 原折本でその山と山の間隔は約20-20.
5。
外・なし、内・文集卷四
蔵書印なし
罫線間隔2.6前後。巻3・17字、巻4・
14字
巻3：朱点(四声と句点) 墨・点、和訓多し。
巻4：朱・四声点、句点、レ点(返り点) 墨・
和訓(稀れ。後筆か)
奥書等なし
巻3・七徳舞一縛戎人。巻4・驪宮高一採詩官。
もと折本仕立を卷子本にしたもの。料紙は楮、
裏打ちは三桎。表紙は唐紙、白地銀模様。箱書
・新樂府。

236

長恨歌 (唐) 白居易著 清原経賢筆 寛文7年
1冊 25.5×17.3
外・長恨歌琵琶行、内・長恨歌、琵琶行
船橋蔵書(朱文)、天師明経儒(朱文) (以
下末尾に) 清原(朱文)、経賢(朱文)
4行7字 四周单边有界
朱・声点(和訓にふられる)、濁点、圈点(用
途不明) 墨・訓点、和訓
奥書・「此一冊祖父被奉授/法皇秘点也 今又
予奉受 御説不洩/一字加朱墨点訖勿許外見
而已矣/寛文第七歲次丁未秋七月二十有三日/
吏部少卿清原経賢/再備/法皇 叡覧四声之誤
仮名之差異尽校正了/」
合綴。帙題簽「長恨歌」。表紙に「長恨歌琵琶
行/秘点(小字) 養真堂(大字)」。柄表紙。
清家文庫 4-08 チ2貴 913279

237

長恨歌伝 (唐) 陳鴻・白居易著 清原秀賢筆
筆写年不詳
1冊 27.2×21.3
内・長恨歌伝、長恨歌、琵琶行
蔵書印なし
長恨歌伝・8行12字、長恨歌と琵琶行序・8
行10字、詩本文・8行7～8字 注双行 四
周单边有界
朱・傍線 墨・訓点、和点、ところどころに圈
点(四声点)
奥書等なし
付箋に「秀賢卿書」とあり。「船橋蔵書」(朱
文)
清家文庫 4-08 チ1貴 913260

238

長恨歌並琵琶行秘抄 (唐) 白居易著 清原宣賢
筆 天文12年
1冊 墨付30丁 27.5×21.1
外・長恨歌並琵琶行、内・古文真宝前集八 長
恨歌 白楽天作、古文真宝前集九琵琶行
船橋蔵書(朱文)
和文 前半葉8行 注双行 四周单边有界
朱・句点、傍線、本文にはヲコト点
奥書・「天文十二年八月十五日十六日、於万里
小路亭講之、長恨歌、琵琶行/環翠軒宗尤」題
簽書名下に「秘」とあり。
重要文化財。

清家文庫 4-08 チ3貴 944930
 239
 琵琶行抄 (唐)白居易撰 筆写者不詳 室町期
 1冊 25. 5×18. 2
 外内題異同なし
 種徳堂記(朱文)
 和文11行
 朱・句点傍線、ヲコト点 墨・訓、和訓(墨は
 本文に)
 奥書等なし
 古文真宝前集九からとる。扉に「琵琶行抄」
 (墨)、「琵琶行 主式部卿」(朱)。
 谷村文庫 4-08 ヒ1貴 763391

240
 唐李長吉歌詩 (唐)李賀著 呉正子箋注 劉辰
 翁評点 筆写者不詳 筆写年不詳
 1冊4巻、外巻1巻 27. 7×20. 2
 外・李賀詩、内・唐李長吉歌詩
 梅孰軒(朱文)、慈照院(朱文)、鷹司城南館
 図書印(朱文)
 11行28字 注双行
 朱・句点、傍点 墨・和訓、訓点
 奥書等なし
 付箋に「足利義政公持本」(旧蔵本)。巻3、
 4が顛倒。
 4-08 ト2貴 1140998

241
 胡曾詩 (唐)胡曾著 胡元質註 前半注は清原
 宣賢筆 筆写年不詳
 1冊 27. 5×21. 5
 外・胡曾詩 内・新板増広附音釈文胡曾詩
 国賢(巻末)
 13行21字 注一字下げ 単辺有界
 朱・ヲコト点、句点、傍線 墨・訓点、和訓
 奥書等なし
 舟橋国賢所持本か。巻初に別人の手で、「明本
 排字増廣附音釈文三註序と京兆尹朱崇吉評註并
 續序」とあり。
 清家文庫 4-08 コ2貴 926349

242
 胡曾詠史詩注 (唐)胡曾著 注者不詳 清原宣
 賢筆 筆写年不詳
 1冊 27. 3×21. 4
 外・なし、内・胡曾詩
 船橋蔵書(朱文)、国賢(朱文)

15行 注和文 無辺無界
 朱・句点、傍線 墨・本文に訓点、和訓
 奥書・「不知此注之作者可尋定之暫写置而已／
 環翠軒宗尤」、後遊び紙に「大府卿」と署す。
 清家文庫 4-08 コ1貴 913234

243
 山谷注之聞書 著者不詳 筆写者不詳 室町末か
 ら近世初
 1冊 25. 5×17. 8
 外内題異同なし
 宗紹(朱文)
 和文18行 四周単辺
 朱点・(段落くぎり)和文 眉欄に書き込みあ
 り
 奥書等なし
 扉に「江陽之珠玄於足利之／小窓書焉畢」とあ
 り。
 4-08 サ1貴 204417

[総集類]

244
 韓柳文評注 皆川淇園著 著者自筆 筆写年不詳
 1帙3冊 仮綴 27×20. 3
 外内題異同なし
 蔵書印なし
 10行17字 四周単辺有界
 墨・訓点、和訓
 奥書等なし
 表紙に、文化4年11月27日に上梓を願ひ出、
 12月2日に許可さる旨の墨書あり。版心上部
 に「淇園文集」とあり。稿本。
 4-02 カ1貴 866591

245
 三体詩抄(初中後) 著者不詳 筆写者不詳 室
 町から近世初
 1帙3冊 28. 2×21
 外・第1冊は唐賢絶句抄、第2冊・3冊は三体
 詩、内・増注唐賢絶句三体詩法
 船橋(白文、各冊巻末奥)、天師明経儒(朱文)
 、舟橋蔵書(朱文)
 和文16行 無辺無界
 朱・句点、傍線
 奥書等なし
 清家文庫 4-02 サ1貴 913242

246

三体詩抄 卷一 (宋)周弼撰、(元僧)元隱
(円至)註、裴庾増註 筆写者不詳 室町期
2冊3巻 29.5×22.0
外・なし、内・増註唐賢絶句三体詩法
楚弓(巻末)
本文10行22字 注和文双行 四周单边有界
朱・句点 墨・訓、和訓(墨は本文に)
奥書・第二冊巻末「明応甲寅之穉新板畢工矣、
先是旧刻之在／京師者散失于丁亥之乱、以故捐
貲刊行焉／置板於万年広徳云／葉巢子敬誌「楚
弓」(墨印)」
明応3年刊本の写本を底本としたもの。
谷村文庫 4-08 サ2貴 763390

247

新編江湖風月集略註 上下 (宋)僧松坡編 僧
天秀註 筆写者不詳 室町
上下2冊 28.6×21.2
外・湖江湖風月集略註
10行16字 注双行 四周单边無界
朱・句点、傍線 墨・訓、和訓
奥書等なし
巻末東陽叟跋「純宗」とあり。初丁表に「永泉
寺什具」とあり。
谷村文庫 4-08 コ1貴 763390

248

魁本大字諸儒箋解古文真宝後集十巻 (元)黄堅
編 僧桂林解 僧清三録 筆写者不詳 天文1
4年
1帙乾坤2冊 20.8×15.7
外・古文真宝抄、内・魁本大字諸儒箋解古文真
宝(乾)、古文真宝(坤)後集十巻
和文13行 無辺無界
朱・句点、傍線
奥書・坤巻「此抄者一元和尚就桂林和尚所聴之
聴書也、写以為吾家真宝云、永正十五戊亥三月
廿六日、清三志。天文十四乙巳歳四月廿三日書
了塩沢氏」
裏見返しに狩野氏図書記(朱文)の蔵書印を貼
付。
谷村文庫 4-02 コ3貴 763373

249

古文真宝抄 桂林徳昌講、一元光演聴書 筆写者
不詳 天文14年か
1帙乾坤2冊 20.8×15.8
内：魁本大字諸儒箋解古文真宝巻之一後集(第

一卷頭のみ)

和文13行 無辺無界
朱・句点、傍線
奥書・「此抄者一元和尚就桂林和尚所聴之聴書
也、写以為／吾家真宝云／永正十五戊寅三月廿
六日／清三志／天文十四乙巳歳四月廿三日書了」
この末尾に異筆にて「塩沢氏」とあり
第2冊目巻末に「狩野氏図書記」の蔵書印を貼
付。
谷村文庫 4-02 コ3貴 763373

250

李王雋 荻生徂徠評選 太宰純、原之清、平義質
校 服部南郭筆 筆写年不詳
1帙4冊4巻 26.8×18.5
第2・3・4冊扉・李王文鈔
服元喬印(白文)
10行20字 無辺無界
墨・訓点、和訓 眉批あり
奥書等なし
四家雋の一部。各冊扉に「南郭先生真蹟本」と
朱書。各冊巻尾に「元喬稿」とあり。
4-02 リ1貴 943160

251

増禪林集句韻 著者不詳 筆写者不詳 天文18
年～20年
6帙36冊30巻 26.5×19.5
外・集句韻 内・増禪林集句韻
正淞院(朱文)
每半葉12行24字
朱・句読点、傍点(線) 墨・訓点、和訓
奥書・「天文二十年 善恵山人瓢庵」
跋文に「天文二十稔夷則日／善恵山人瓢庵」と
あり。序(第一冊巻尾)「瓢庵山人守仙時齡六
十」とあり。韻毎に排列。小室三吉寄贈。
4-06 ソ1貴 8867

252

新刻時用絵意雲箋 (明)蔣守誠編、王相參訂
筆写者不詳 貞享元年か
1冊 27.4×19.9
外・絵意雲箋、内・新刻時用絵意雲箋
黄龍窟蔵(黒文)、広沢(朱文)、踞城出□
(朱文)
15行24字 四周单边無界
朱・書き込み、句点、圈点 墨・訓、和訓 眉
欄に注あり
奥書・「貞享改元季夏下浣愚齋塾伝涉干武之小

石川東皐」

明刻本を転写。手紙の書き方集成（実用書）。

谷村文庫 4-04 カ2 91002412

書 名 索 引

[あ]

医書目録稿本	202
医粹約範書目稿本	203
稻生若水遺稿	225
稻生若水涉獵志類	226
夷匪犯境録	158
医方広覧	194
医類函類聚書目	204
韻鏡手引草	136
韻鏡秘抄	135
筠廊偶筆	213
尉繚子	176
永楽大典	215, 216, 217
易学開物	14, 15
易学啓蒙	7
易学啓蒙抄	9
易学啓蒙通釈	8, 10
易学啓蒙通釈口義	11
易経	1
易経啓蒙通釈	10
易経伝義鳩巢先生講義	12
易経文字部類集	13
易原翼	15
易抄	4, 7
易占	28, 29
易占揲方	32

[か]

開元天寶遺事	232
諧声図	139
魁本大字諸儒箋解古文真宝後集十卷	248
閣帖辨偽	209
金沢物対	231
漢書抄	146
韓柳文評注	244
学庸知言	125
月令抄	59, 60
熙朝楽事	212
蓍卜考誤辨正	22
九丘八索	167
救荒本草野譜	187
郷射礼攷	55
曲礼抄	58
金匱存疑	189
玉芝堂談薈	214
儀礼図	54

句股弦度図説	206
孔叢子	161
乾坤考	23
孝經外伝或問	83, 84
孝經御注	75
孝經啓蒙	86
孝經抄	79, 80, 81, 82
孝經述義	76, 77
孝經述義序並古文孝經序	78
孝經大義私記	87
孝子伝	154
考声微	131, 143
校正補注瘟疫論（第二稿）	198
校定温疫論（第三稿）	197
校定瘟疫論（第二稿）	196
校定瘟疫論並翼訣（第一稿）	195
黄帝内經太素	184, 185
黄帝内經明堂	188
古音律呂三類	140
古声譜	141
胡曾詠史詩注	242
胡曾詩	241, 242
古注蒙求	218
古文孝經	70, 71, 72, 73, 74, 80, 81, 82, 85
古文孝經抄	79, 80, 81
古文孝經辨	85
古文真宝抄	248, 249
古本傷寒論	186
困知記	164
呉子	173

[さ]

左史提要	68
左伝聴塵	67
山谷注之聞書	243
纂図附音増広古註千字文	130
三体詩抄	245, 246
三略	177
三略抄	180, 181
三略秘抄	182
旨意要録	151
史記索隱	144
史記抄	145
詩経国風図	48
詩経古写本	41
詩経小雅図	49
詩経小識	50, 51
詩経図略	47
施氏三略講義	183

四種彙粹類纂	199
四書圖略	126
四書童子訓	127
四声大秘事	142
司馬法	174, 175
指微韻鏡序解	137
周易	1, 4
周易釋解	20
周易繫辭伝図	16
周易繫辭伝図釈	18
周易十撰釈例	19
周易図曆略訣	31
周易成卦	17
周易正義	2
周易伝授式	30
周易卜筮之抄	26
周易要事記	24
聚分韻略	134
周礼疏	53
春秋経伝集解	62, 63, 64, 66
春秋穀梁伝	69
春秋左氏伝	62
春秋左伝抄	65
春秋抄	66, 67
傷寒論存疑	190
尚書漢注攷	40
尚書古鈔本	33
尚書抄	34, 35, 36, 37, 38
尚書聴塵	34
書経釋解	39
書史会要	207
庶物類纂	224, 225, 227, 228
庶物類纂 鱗属	224
書法	208
進貢苗蛮図	155
新刻時用絵意雲箋	252
新編江湖風月集略註	247
清律例彙纂	157
字解記聞	133
入木管見抄	211
荀子篇	165
貞觀政要	150
成卦図	21
遷史戾柁	147
千字文	128
撰定蕭蘭竝擷	160
莊子虞齋口義	170
莊子無已	171
素問存疑	191
孫子	172

増禪林集句韻	251
--------	-----

[た]	
太極図述	166
大易綱説	6
大易断例卜筮元龜	5
大学	88, 89, 90, 91, 92, 95, 97, 99, 127
大学億	94
大学解説	98
大学稿	99
大学抄	95, 96, 97
大学章句抄	95
大学章句筆記	100
大学知言	125
大学定本	93
大戴礼記	56
註千字文	129
中庸	101, 102, 103, 104, 105
中庸講義	107
中庸私抄	106
中庸抄	105
中庸知言	125
長慶宣明曆	205
長恨歌	236, 237
長恨歌伝	237
長恨歌並琵琶行秘抄	238
楞維集	201
帝範	162, 163
摘英集	230
唐土歴代州郡沿革地図	156
唐李長吉歌詩	240
導引纂要	200
読朱氏詩伝	52

[な]	
南宋六臣伝	153

[は]	
白居易文集卷四新楽府	234
白氏長慶集	233
白氏文集	235
白雪楼史記考文	149
白雪楼史記読本	148
八十一難存疑(黄帝八十一難經)	192
反切濫觴	138
標題徐状元補注蒙求	220, 221
標題補注蒙求	221

標題蒙求	2 1 9
琵琶行抄	2 3 9
文緯	1 3 1
文緯補闕丙集一	1 3 2
文房佳話	2 1 0
法帖刊誤	2 0 9
法帖釈文	2 0 9
法顯伝	1 5 2

[ま]

明史芸文志	1 5 9
名疇	1 6 8
蒙求聴塵	2 2 2
毛詩	4 1, 4 2, 4 3, 4 4, 4 5, 4 6
孟子	1 2 1, 1 2 2, 1 2 3, 1 2 4
孟子抄	1 2 1, 1 2 2, 1 2 3, 1 2 4
毛詩抄	4 4, 4 5, 4 6
毛詩聴塵	4 6

[や]

幼学指南抄	2 2 3
-------	-------

[ら]

礼記	5 6, 5 7, 5 9, 6 0, 6 1
礼記釋解	6 1
李王雋	2 5 0
六韜	1 7 8, 1 7 9
六韜秘抄	1 7 9
類説節要	2 2 9
靈樞存疑	1 9 3
老子経抄	1 6 9
六十四卦飛伏六親備忘	2 7
魯論抄	1 1 6
論語	1 0 8, 1 0 9, 1 1 0, 1 1 1, 1 1 2, 1 1 3, 1 1 4, 1 1 5, 1 1 6, 1 1 7, 1 1 8, 1 1 9, 1 2 0
論語雅言	1 1 7
論語郷党図解	1 2 0
論語義疏	1 1 4, 1 1 5
論語集解	1 0 8
論語圖略	1 1 8
論語欄外書	1 1 9

人 名 索 引

[あ]

愛香生	210
浅井為信	136
朝川善庵	213
篤信	72
新井白石	206
安平叔	71
一元光演	249
一柏	11
伊藤維楨 → 伊藤仁斎	
伊藤仁斎	93, 138
稲川玄度	131, 139, 140
稲常	170, 180
稻生若水	50, 51, 224, 225, 226, 227, 228, 231
上田耕	99
尉繚子	176
亦庵村僧	7
園宗	80, 81
王甲子	6
王相	252
王仁裕	232
王道	94
大田錦城 → 大田元貞	
大田元貞	23
王磐	187
岡白駒	165
置塩維裕	131
萩生徂徠	250

[か]

何晏	108, 109, 110, 111, 112, 113, 114, 115
海保元備	40
覚非	87
賈公彦	53
亀田窮楽	128
環翠	9, 31, 43, 45, 59, 60, 65, 67, 102, 124, 145, 179, 182, 221, 238, 242
環翠軒	9, 43, 59, 60, 65, 67, 102, 124, 179, 182, 221, 238, 242
環翠軒宗尤	43, 59, 60, 65, 67, 179, 182, 221, 238, 242
木村穀士	68
九梅叟拙	218
清原在賢	38, 72, 89
清原枝賢	31, 101, 104, 109, 134, 154, 173, 176
清原賢好	43, 73

清原国賢 1, 3, 31, 35,
 77, 82, 134, 137, 170, 175, 176, 180, 183, 205, 219, 241
 清原近業 33
 清原經賢 24, 70, 73, 94, 142, 208, 236
 清原豊隆 74
 清原尚賢 69, 134, 163
 清原仲宣 33
 清原業賢 30, 44, 46, 53, 54, 82, 146, 172, 178
 清原業忠 123, 124
 清原宣條 111
 清原宣賢 8, 9, 11,
 33, 34, 35, 37, 43, 44, 46, 57, 58, 59, 60, 63, 65, 67, 80, 81,
 91, 92, 102, 108, 116, 121, 123, 124, 134, 145, 146, 169,
 175, 178, 179, 181, 182, 183, 220, 221, 222, 238, 241, 242
 清原宣光 111
 清原則賢 88
 清原教氏 74
 清原秀賢 1, 3, 56, 145, 161, 162, 200, 205, 207, 211, 237
 清原秀相 169, 229
 清原弘賢 25, 76
 清原真人 43, 74
 清原宗元 43
 清原師賢 27, 29, 78, 95, 106, 118, 126, 136, 212, 232
 清原良賢 114, 123, 124
 清原良枝 110
 金原安修 210
 空盛 180
 熊沢蕃山 83, 84
 景徐 (周麟) 146
 桂林 248, 249
 桂林徳昌 248, 249
 月舟 11
 元隠 246
 光基 188
 黄堅 248
 光清 79
 胡元質 241
 胡曾 241, 242
 胡方平 8, 9, 10
 胡方平原 8
 呉起 173
 呉兢 150
 呉景賢 56
 後浄居院 9, 137
 呉正子 240
 呉有性 195, 196, 197

[さ]

佐々宗左衛門 130

佐藤一斎 → 佐藤坦

佐藤坦	119
司馬攘苴	175
司馬貞	144
周超	170, 180
周弼	246
朱熹	7, 11, 88, 89, 90, 91, 92, 95, 101, 102, 103, 104
守仙 → (彭叔) 守仙 (=瓢庵)	
春水	51
蕭吉父	5
蔣守誠	252
少納言清原朝臣	33, 92, 104
松坡	247
師鍊 (虎関師鍊)	134
沈湘南	157
真祐	86
持明院基春	211
浄居院	9, 137
徐応秋	214
徐昂	205
徐状元	220, 221
清三	57, 80, 81, 113, 181, 248, 249
清三位入道宗尤	57, 80, 81, 113
青松	30, 31, 35, 62, 64, 77, 82, 134, 137, 154, 170, 174, 175, 176, 180, 205, 219
禪恵	103
宋咸	161
宗二	181
蔵氷軒	123, 124
宗尤	41, 43, 57, 59, 60, 65, 67, 80, 81, 102, 113, 179, 181, 182, 221, 238, 242
宋肇	213
孫武	172

[た]

戴徳	56
田中親長	26
丹波篤基	188
丹波長高	188
丹波尚康	201
丹波知長	201
太宰純	52, 250
陳鴻	237
陳枚	155
津田松隣	25
鄭懷魁	206
天秀	247
田汝成	212
陶九成	207

桃源（瑞仙）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・145, 146
 東泉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26
 陶宗儀・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・207
 唐玄宗・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・75
 唐太宗・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・162, 163
 道恵上人・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・137
 董増齡・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・117
 百絢呵凍・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・186
 百々絢・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・153, 185, 186, 189,
 190, 191, 192, 193, 195, 196, 197, 198, 199, 202, 203, 204
 百々南岳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・194

[な]

永井清昌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
 長久保赤水・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・156
 宣幸・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・80, 81

[は]

裴庾・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・246
 白居易・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・233, 234, 235, 236, 237, 238, 239
 服部南郭・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・250
 瓢庵・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・251
 藤原為周・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・97
 舟橋在賢 → 清原在賢
 舟橋国賢 → 清原国賢
 舟橋経賢 → 清原経賢
 舟橋尚賢 → 清原尚賢
 舟橋則賢 → 清原則賢
 舟橋秀相 → 清原秀相
 舟橋弘賢 → 清原弘賢
 舟橋師賢 → 清原師賢

[ま]

万生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・45
 皆川愿 → 皆川淇園
 皆川淇園・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13, 14, 15, 16, 17, 18,
 19, 20, 21, 22, 39, 48, 49, 55, 61, 98, 147, 167, 168, 244
 皆川伏瞻・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39
 三宅重古・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・100
 宮田華龍・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・120
 室鳩巢・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12, 107, 166
 室直清 → 室鳩巢
 綿谷（周𪛗）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・146

[や]

康雄・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・181

山路機谷濟	・ ・ ・ ・ ・	1 4 8
山路伯美濟	・ ・ ・ ・ ・	1 4 9
祐圓	・ ・ ・ ・ ・	1 0 1
有斐斎	・ ・ ・ ・ ・ 1 6, 2 1, 2 2, 4 8, 5 5, 9 8,	1 6 8
姚可成	・ ・ ・ ・ ・	1 8 7
揚上善	・ ・ ・ ・ ・ 1 8 4,	1 8 5
楊復	・ ・ ・ ・ ・	5 4
吉田梵舜	・ ・ ・ ・ ・	1 0 8

[ら]

羅欽順	・ ・ ・ ・ ・	1 6 4
李瀚	・ ・ ・ ・ ・ 2 1 8, 2 1 9, 2 2 1, 2 2 2	
李賀	・ ・ ・ ・ ・	2 4 0
李之藻	・ ・ ・ ・ ・	2 0 6
李暹	・ ・ ・ ・ ・ 1 2 9, 1 3 0	
劉炫	・ ・ ・ ・ ・ 7 6, 7 7	
劉辰翁	・ ・ ・ ・ ・	2 4 0
林希逸	・ ・ ・ ・ ・	1 7 0

京都大学附属図書館所蔵
貴重書漢籍抄本目録

平成7年6月30日
編者：興膳 宏・木津祐子
発行：京都大学附属図書館